京城日報

二月十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇對獨封鎖問題 新たに一委員會組織せらる

聯合國最高會議に於て佛國藏相は今日迄獨逸は聯合國に引受く可き侵略領土より押收したる財産は財産調査中の極少量に過ずと聲明し尚其沒收したる獨逸在住聯合國民の財産還附に對しては之が方法を講ずる事を拒絶せりと述べ又ボープ海軍大佐は曰く獨逸は休戰條約に依り引渡を要求せられたる潜航艇並に商船の引渡しを實行せず獨逸の商船にして聯合國の用度とならざる限り聯合國は獨逸に對する食糧を供給を爲す能はずと説論せるより封鎖問題論議に上り結果休戰に關する諸問題を論議す可く新に英國講和委員ロバート、セシル卿及び英國海軍少將スウエイツ將軍を含む八名の委員より成る一委員會組織せられたり（巴里電報）

◇聯國委員漢堡へ

獨逸商船の侯數及び狀態調査の爲め聯合國委員漢堡に向け出發せり（巴里電報）

◇英賠償金要求 聲明

英國々璽大臣ボナーロー氏は下院に於て聲明して曰く政府は英國講和委員に對し戰鬪損害を含む賠償金を要求す可く明確に訓令を發したり（倫敦電報）

◇ウ氏歸國期確定

米國大統領ウイルソン氏は十二日夜の演説に於て國際聯盟の事業は氏の歸國迄に完成せざるべきを表示せり氏は十四日巴里出發歸國の上三月十五日再び巴里に赴くべしと（紐育電報）

◇對獨詰責峻烈 機關車及び工作船引渡不履行

コツペンハーゲン來電ワイマールよりの報道に曰く獨逸休戰委員エルツベルゲル氏は獨逸の機關車及び工作機械引渡の不履行を詰責せる英佛兩國の通牒に接したるが語調峻烈を極めたり米國側の通牒も最近獨逸に到著する筈也（倫敦電報）

◇獨休戰委員急行

獨逸休戰委員若干名は更に協議を開く目的を以てドレブスに急行しつつあり（コペンハーゲン電報）

◇羅國大叛亂勃發 フエルヂナンド王負傷す

羅馬尼に一大叛亂勃發し職工等はブカレストの王宮に通ずる道路を閉塞し王族等の遁れんとするを遮斷し暴徒は王宮を砲撃しフエルヂナンド王は負傷せり而して暴徒は共和國萬歲を絶叫したり（紐育電報）

◇萬國社會黨大會 終了

萬國社會黨大會は終了せるが其最後の會議に於てアーサテンダーソン氏は出席代表者多數の主張せる過激主義を非難したり（ベルン電報）

◇支那南北會議期

北方代表の南京にあるものは都合に依り十三日上海に赴くに決定せり從つて平和會議の開會期は十五日に延期せられたり開會式は多分李純出席正式に南北兩代表を紹介すべきも李純は六日負傷せるを以て盧護軍使代つて出席するも知れず（北京特電）

◇滿洲大學 設立計畫建議

滿洲大學建設計畫に關し既に當事者より滿鐵及び都督府に對し建議するところあり其内容は現在の醫學堂を醫科大學に昇格せしめ之に理工科を附屬せしむ可き計畫にして向後八年にして完成す可く修業年限は中學二年豫備三年本科即ち大學四年にて計九年とせり尚右に關聯し圖書館、出版部、物理、化學研究所等の設備を要す可く其費用巨額に達すべし（奉天特電）

◇在支獨墺人 歸國期

出發延期を陳情し拒絶されたる在支獨墺人は愈來る二十一日上海經由歸國の途に就く可く其間支那官憲は彼等の身邊に就き充分なる監視と警戒を怠らざる可く準備整ひ居れり（奉天特電）

◇鎭海議員當選

鎭海學校組合議員選擧は十五日開票の結果松尾重信、本木淺雄、伴昇、松尾末太郎、田村正男、淺岡仁助、山本忠、近藤健太郎、桑原榮八郎、兒島力太郎當選し海軍側三市民側七にて民間側の勝利に歸したり（馬山特電）

◎獨逸政體會議 宰相演説大要

伯林政府は憲法草案を公表したる後各聯邦代表者を伯林に集め右憲法案を協議したるに該草案の骨子たる普魯西分割及び中央集權説に付普魯西及其利害關係國の反對盛にして草案起草者たるプロイッスを始め政府側にては百方原案維持に努めたるも議遂に纏まるに至らず而して又スパルタシアンの活動はリーブクネヒト、ローザルクセンブルグの横死後尚ほ繼續しラデクは再び伯林に乘込み獨逸國各地に亘り同盟罷工今尚ほ絶えざる狀態にあり然れども嚢にスパルタシアンの占領に歸したるブレーメンは政府軍の爲め奪還せられワイマール附近アイスナイトを占領せんとしたる計畫も成功せず又二月五日を期し伯林に騷亂を起さんとする計畫も之亦失敗に歸したるものゝ如くスパルタシアンの活動は今後尚ほ注意を要する次第と信ぜらるゝも差當りては頽勢を挽回するの力なく其活動下火となれりと云ふも可なり斯の如き形勢裡に政體會議は豫定の如く六日午後ワイマールに於て開會せられたるが劈頭エベルトは大要左の演説を爲せり

▲臨時政府の權能 は革命に因り授けられたるものなるを以て政權は今や本政體會議に歸屬すべく吾人は獨逸の全將來に亘り王侯君主なきに至りたるを喜ぶものなり吾人は戰に破れたるも是れ革命の結果に非ず休戰を提議したるはマックス親王にして然も友邦の沒落且つ軍事經濟上の狀態に鑑み他に取るべき方法なかりしを以て獨逸革命は舊時代の權力者及軍國主義者の爲め惹起せられたる困苦に付何等の責任を負ふを得ず又今期革命は獨逸の食料難に就ては何等の責任無し然るに戰爭の結果吾人のみならず敵國も財源涸渇せるを以て此の窮狀を醫せんが爲め敵國は現に專ら政策を取らんとするも如此き復讐的且つ暴力的政策は甚大なる抵抗を惹起すべし吾人は戰爭を罪惡視したる各人の責任を明かにする堅固なる決心を有するも敵國側に於ては其の

▲戰爭遂行の目的 なりと宣言したる獨逸に於ける皇帝主義及軍國主義は既に粉碎し盡されたるにも拘らず休戰條件の酷なる事前古未聞にして之を遂行する事亦甚だ愈なり吾人は敵國の迫窮餘りに甚しからむ事を警告すると同時に吾人をして屈辱か拒絶かの一を選ぶに至らしめざる事を望むや切なり獨逸は大統領ウイルソンの提出せる原則に信頼し戰爭を休止したるも獨逸は今やウイルソン的平和を期待し得る正當の權利を要す全獨逸國民は國際聯盟の平等の一員として其の勤勉且つ才能に因り敬意を受くるの地位を獲得せんとする外他意なきが其今後世界に貢獻する所少からざる可く現に恒久的

▲存立の價値あり て國民の文化及び幸福を增進し得べき唯一の方法たる社會主義を實現し以て世界社會化の率先者たらんとしつゝあり之を以て吾人は世界各人に訴ふると同時に國民及其經濟的生活を脅迫する結果遂に吾人を全滅するが如き［？］を以てす又吾人は全獨逸國民を糾合して一國を組織せんとするの念を放棄せず余は茲に全獨逸國民の名に於て墺國內獨逸人の宣言を歡迎するものにして右人民は新獨逸國內に誠意を以て歡迎せらるべきを確信して可なり獨逸は昔時の如き分裂狀態に陷るべからず而して唯獨逸國のみより獨逸の將來を確保し且繁榮ある經濟的生活を齎し得べし臨時政府は中央委員會と協力今尚存在する

▲危險を除去せん ことに努めたると同時に協力經濟的生活の常道に復歸せんことを計りたるが更に資本家に對して生産を增進せしめん事を望み勞働者に對しては充分に其の勞働力を活用せんことを勸告せんとす吾人を救濟し得るの途は唯だ勞働と奉仕に在り予の思惟する處に據れば生産が充分に能力を發揮したるものあるも吾人は獨逸國民が能く諸種の困難と艱苦に堪へ自家相當の地位を恢復し得べきを信じて疑はず普魯西の國斷政策ホーヘンツオルレン家の軍隊及戰爭武斷政策は永來永劫破壞せられたる今日吾人は此處ワイマールに於て帝國主義より理想主義へ世界的威力より精神的威力への一轉化を惹起せざる可からずして吾人の大目的は獨逸國の正義を確證し獨逸國を一大社會共和國たらしめんとするにあり

◎反動稍落著く 一般的不景氣必來せん 殖産銀行頭取 三島太郎氏談

東京大阪神戸方面旅行中なりし殖産銀行頭取三島太郎氏は十五日夜歸城したるがその語に曰く

▲反動不景氣 は土地に依り今回の商店側とも稍落著き氣味である然し休戰後去年の暮以來急激に襲つて來た內地財界の反動も昨今銀行側に於て大阪神戸方面を主とし商品も限局された詰まりは特種的のものと見るを至當とせん乃ち不景氣風の強く吹きまはれるは戰爭によつて非常の膨脹と發展を來せる阪神地方に限られし觀あり東京方面や下關九州方面の如きも大した事はないやうである、又商品も鐵船舶藥品染料と云ふ戰時に破的の影響を受けたものに概して限局され未だ一般の商品に及んでゐないかに見られる唯這回の變動は大體に於て戰爭終熄後に來れる反動の先驅とも云ふべく講和後に必然來るべき世界的不景氣の襲來は免れないと予は信じてゐる、その世界的の不景氣がいつ來るかは列強に於ける

▲戰後の對策 如何により遲速あり俄に斷じ難きも必ずしも遠い事ではあるまい左樣の場合日本の財界は餘程困厄するであらうさりとてその切り拔けには昨今の不景氣風が餘程藥となり一般に警戒を嚴にさせてゐるやうだから徒らに悲觀するには當らない、東京には彼是一月足らずゐたが殖銀鮮銀の用は振り分け位に辨じて來た、殖銀の方は色々な調査や關係方面との打合せ等であつて未だ格別現下の財界に直接の交渉を有せる事務でないけれど鮮銀の方は財界の變轉期に際せし關係上［？］こりやう一つで如何なる結果を來すか分らず極めて肝腎な時代であり重要な行務が多い、大阪支店は例の鈴木洋行の破綻に少額の引きかゝりを生じたけれど大體に於て各支店の

▲營業は順調 に進んでゐる殖産銀行の東京支店――事務所も何れは新設の必要あれど未だ急いで之れを設けねばならぬと云ふ場合にも立ち至つてゐない、從つて今回は左樣な方面の準備はなさない、殖銀の幹部とうも內地財界の事情には多く密接してないので入れ交り立ち交り京阪財界の要素を視察をやらせ各方面に連繫する素地と準備を作らせねばならぬ鮮銀の下の關支店は十七日より開業すべく各種の準備は略完了してゐた

◎新師團の編成 特設機關設置か

四月より龍山に新設を見るべき第二十師團司令部は既に參謀長以下參謀副官經理軍醫獸醫法官各部部員たるものに對し陸軍省にて内命を下したる模樣あり旁期日の切迫に伴ひ第廿師團司令部員たる武官の渡來續々生ずべく從つて近く師團新設の特設機關を組織し各種の事務を執るに至るべし尚ほ師團長の人選は中央部にて略終了せる模樣なるがその發表は四月に入るものゝ如し

◎軍隊輸送了期

西伯利出征部隊の撤退後備兵送還は十二三日頃を以て終了の豫定なりしも東淸鐵道に於ける輸送力殆んど見當つかず全く當初の豫定通り進行せず隨つて連日一列車宛の輸送をなす事は不可能の模樣にあり旁軍隊送還の完了は來る二十六七日頃となるべし滿鐵當局もその不秩序なるに閉口しつゝありと

◎京電社員安動に於て 山口取締役談

京城電氣會社の經理課長と稱する山元某が過般來官廳その他に對し露骨に島田支配人の排斥と木本專務の無能を吹聽しまはり同社内の紊亂を廣告したりとて近來財界一角の問題となり居れるが右に付十五日歸城せし山口同社取締役は曰く年の若い世の中の事のまだよく分からぬ一社員が何事かに憤激して向ふ見ずの有樣で社内の面白からぬ事情を外部に吹聽してまはつたと云ふ事は旅先で聞きました、實に困つた事だと思つてゐる

▲唯社員の某が 支配人の越權擅斷と云ふ惡口を云ふた時に相手からそれではナゼその支配人を專務が制せぬか支配人は一の社員でないかと反問されし場合、專務の無能らしい事を仄かしたからとて、又その社員と予が總選の關係があるからとて、予に何か專務の椅子にありつかんため下心あるかのやうに云ふ人もあるらしい、然しそれは飛んでもない事である

▲左樣な推測 をする人があるとすれば山口の三十年來の性行を見て欲しい、私は左樣な下劣しい野心を有つ男でないと云ふ事を公言するのである、京電の內部に若干の紛議ある事は私も否認はせぬ、然しそれは內部の事であつて內部で出來た事は內部でケリをつける、大橋社長は多忙なため又病人もあつたりするので朝鮮に來れないのであるが、私等の間で何とか片をつける考へです先づ見てゐて欲しい

◎京城金融組合と小額資金 ＝貸出機關の設置を見ん＝

小額資金貸出の金融機關は我が朝鮮に於ても大いに研究せられ彼の金融組合の如き其組織は誠に完備せるものなれども

▲京城に於ける 小額資金の金融機關は果して如何の狀態に在りや之れ大いに研究を要する問題なるべし大は朝鮮銀行より以下種々の銀行各々其分に應じて活動しつゝありと雖も中流以下の人々は之を利用すること殆んど不可能と見て差支なかるべし彼等は高利貸の融通を受け又は頼母子講を組織して其急場を凌ぎつゝある狀態なり而も京城には高利貸若しくは頼母子講の存在數過多なりと之れ即ち此方面金融機關の缺如したる證左と見るべし如何に進歩したる社會に於ても

▲信用不充分 なる人が金融を仰がんとせば高利貸に據るか講類似の機關を利用するか質屋を利用せざるべからず故に高利貸講會若くは質屋の存在するは自然の現象なりと雖も需要者の之に支拂ふ利子の負擔頗る大なるものあり然らば小額資金金融機關は如何に改善すべきか之れ頗る複雜なる問題にして俄に裁斷に苦しむも歐米に於ける細民銀行の如き公設質屋の如き蓋し其主なる方法たるべし公設質屋は東京に於ても一度問題となりたる事あるも其の實行を見るは尚ほ遠き將來に屬すべく細民銀行亦然り

▲歐洲に於て は兩者共に既に其設立を見相當の成績を擧げつゝあるを見る即ち決して實行不可能の事に非ずと信ずれども我國に於ては寧ろ頼母子或は無盡と稱する如き共助法の存在するもの有れば之を監督指導し其發達を助長せば改善の見るべきものあるべし物價の暴騰殆んど其底止する所を知らざる現今に在りては中産階級救助の一法としても小額資金貸出金融機關の設立は極めて必要なる事にして是非何等かの形式を以て之を解決せざる可からず幸ひ

▲昨今市內有志 は大いに此處に鑑みる所あり種々奔走して既に當局の意嚮を質し之れが後援を得て京城金融組合を組織すべく既に其の定款案の作成を了し組合員の金融を緩和し其の經濟の發達を企圖する爲め資金の貸付け手形の割引預金並に産業上必要なる材料の貸付け生産物の販賣又は倉庫保管を爲す等種々小額金融に貢獻する所あらんとするは時局に際し慶ぶ可き現象なりと某氏は語れり

◎新機關車揚陸

米國に註文中なりし滿鐵京城管理局の機關車十二臺は十四日釜山入港の便船にて到著十五日に亘りその揚陸を終りしに付黑澤工場長は十五日夜釜山に直行したり尚ほ新機關車中四臺は草梁工場にて之れを組立て八臺は龍山工場に廻送する事となりたるがその使用開始は一部二月下旬にして大部分は三月に入るべし

◎穀類出廻激增 京釜線の滯穀

軍隊輸送終了せざるため鮮鐵沿線に停滯せる出穀の輸送意の如くならざるは止むを得ざるが最近京釜線各驛に對する出穀は天候晴れ續きと共に著しきものあり目下の所京釜線の滯穀は約三萬噸廿四石を超ゆ居る由にて軍隊輸送終了して輸送順調となり更に解氷期も接近し來り出廻り頻出するに至れば現に大阪相場に比し石一圓以上を高張れる鮮米相場は必然の勢めとして暴落すべしと稱せらる

◎安東製錬近況

奉天商業會議所の調査に依れば大倉鑛業株式會社安東製錬所に於る

▲現在の原鑛 は馬鹿溝銅山より來るものと安東縣銅礦鑛銅山より採掘するものとを併せて一箇月約三百噸又朝鮮の平安北道慶尚北道全羅南北道等より來るもの及び支那直隸省遷安縣方面より來るもの等を加へて總數一箇月約七百噸なるが一箇月の製品は銅約二十五噸其の副産物として

▲純金三貫匁 銀六貫匁にして銅一噸一千三百五十圓として三萬三千七百五十圓、純金一萬五千圓、銀一千五百圓合計約五萬圓の製品を出すに過ぎず而も支那産の礦石を日本又は植民地に輸出せんとせば如何なる礦石と雖も一擔即ち百斤に付海關兩の二分の一兩を課税せらるゝ規定なるを以て現在の爲替相場より打算する時は實に一噸に付我三十二圓の輸出税を課せらるべし斯くては到底採算上引き合ふべきものにあらず然るに此礦石を朝鮮より安東即ち

▲支那の領土 に輸入するとせば從價の五分七十五錢の課税あり其上鐵道輸送による時は三分の一の免税あるを以て僅々五十錢の税金を負擔するに過ぎず即ち同製錬所が距離遼隔なる朝鮮地方より買鑛する所以なりと而して同製錬所の理想とする所は朝鮮地方の買鑛よりも寧ろ支那領土內に良質の銅鑛を求めんとするものにして日本人又は支那人にして相當の品位を有する良鑛を採掘せんとするものあるに於ては同所に於て可及的の援助又は指導をも辭せざる覺悟なるものゝ如く要するに同製錬所の現在は

▲採算上の利益 を度外視し將に來らんとする南滿洲方面の銅及び金銀鑛業の進展を期すると同時に漸を追うて斯業の發達を圖らんとするに在るものゝ如しと

◎北滿煙草近況

北滿殖産株式會社創立發起人佐藤喜之氏の總辨たる北滿洲煙草試作場に於る七年度作業は先原産地の實情調査を主とし煙草の試作は之を從となし概ね土人栽培のものに就き研究を遂げたるものなるが、事實上南湖頭及び其附近の地味は煙草耕作に適する天然の性能を具備し且相應面積を包有するを以て將來煙草農場として最も適地なることを確認さるゝに至り漸次設備の完全を圖り愈本年度より自ら試作の任に當らんとすと而して土質の性能既に煙草耕作地として確適せるを認めし上は爾後主として諸種改良を加へ更に在來の作人に對し指導獎勵共に其の宜しきを得ば將來此地斯業の勃興を促すこと敢て難事に非ざるべしと京城商業會議所に報告ありたり

◎久保局長歸期

久保京管局長は十六日夜歸城の豫定なりしも都合上同日大連出發南滿方面を視察の上十九日頃歸任すべし

人事消息

▲秦秀作氏（平北第一部長） 十六日入城浦尾へ
▲神林啓太郎氏（旭嶺山所長） 十六日夜入城浦尾へ
▲矢島音次郎氏（全北第一部長） 十六日夜入城浦尾へ

六甲山苦樂莊より　北海　三島太郎
松影瀉碧心欲空。曉風殘夢四肢融。推戶滿目春如海。泉水紀山指顧中。

八面鋒

◆獨逸總選擧の結果、エベルト愈大統領に當選せりと傳へらる、彼や嚢に政體會議に臨んで、意氣昂然、聯合國を睥睨するの態度を示せり、敵乍らも聊か話せる男也。

◆國際聯盟を捏ね上たる、ウルソン君と、ロイド、ヂョージ君は一先づ本國に歸還すべしと、彼等の得意や憶ふべし。然れども英國の間は彼等は獨逸に對して、餘りに寬大なりと、總攻擊の矢を向け居れり。一寸息抜きの體か。さるにても兩君留守中の講和會議が、依然として重要問題の討議を進むるの勇ありや否。

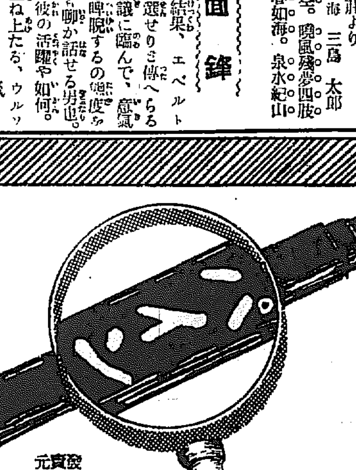
◆日本の委員が力說したる、マーシャル、カロリン兩群島の領有及び山東に關する日支協約の履行は其結果如何になるか、洵に心細き次第也。唯力說丈けにては、前途未だ容易に樂觀を許さず開けて口惜しき玉手箱ならずんば幸也。

◆近時の內地財界は、頗る神經過敏となり來れるが如し。否寧ろ非常な臆病に取り付かれつゝあるが如し。大阪の某銀行の如きは、忽如として小取付に遭ひたるが、其は小學教員が、兒童に對して、某銀行は不信用なりと吹聽せしに因すと。教育家として、勿論不謹愼なる言行なるも、銀行取付の呼等は、萬犬虛に吠ふるの危險ありとは、餘りに小心也。心細き財界の情況也。

◆過般會社設立熱興時代に、無暗に不見轉式を發揮して、株式申込をなせし者は、今や全く恐怖病に襲はれつゝあるが如し。財界不況の今日之等の株式は、拂込以下に墜落し、棄るも拾ひ手なき悲境に陷り其仕末に窮しつゝある者多し。

◆彼等は株主たるの權利を拋棄せし上り、拂込の義務無しと云ひ、權利の賣買は名義書換をなし非ざるを以て、拂込の義務なし等、窮して通ぜんとす、之れ人情ならんも、餘りに臆病也、卑怯ならずとせず。

◎吸入瓦斯發動機讓受タシ
（中古品ニテ廿馬力ヨリ卅馬力位）
製作所、使用年限、機械履歷、附屬品有無價格等至急通知アリタシ即時買入ス
外ニ五十馬力ボイラー壹個
朝鮮木浦幸町二丁目
川村鹿吉


金ペンの氣持よく走る
心地と体裁の良い萬年筆
はパイン萬年筆に限る
綠出金筆　八圓八十錢（賃用向三圓八十錢）
最新綠出　六圓八十錢（學生號一圓八十錢）
インキ止式短軸　四圓九十錢（ビジネスペン一圓九十五錢）
發賣元　京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

麻苧、マニラロープ
麻繩、玉糸各種
綿糸撚糸、棕梠繩
綿糸ハツ打綱、シデ糸、源平糸、帳綴糸、細引、タヽミ糸
京城本町二丁目
㊃森政吉商店
電話一五九四番　振替京城一七五八番

品質本位　大改良經濟ランプの特長は何!!!
○地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計可申候
現今石油暴騰は何ぞ驚くに足らん。一刻も早く本品の御使用を乞ふ片時も在來ランプを全廢せよ。石油は在來ランプの半額以內
是れ使用者の福音即ち國家の大經濟○經濟を重ずるは戰後の急務
○光力は電燈の十燭光に匹敵す在來ランプ五分芯の倍燭以上
○堅固無比火災の心配絕對なきを保證す
△特約代理店募集す
御希望の方は特に御相談に應ず

金壹圓七拾錢也
壹個外に送料二十錢海外一円拾錢也
見本一個は一切割引せず
朝日式經濟ランプ特約大販賣元
東京市本郷區湯島天神町一の八二　振替東京四三一四六番
大畑商店洋燈部東京支店
本店　埼玉縣川越南町　大畑宗五郎商店

新油旗類 各油卸 炭 山成徳用品
國石 石版 一式 小賣
大印 活版 インキ
貿易雜穀商
分藤富國太郎商店
京城本町［？］

御渡鮮の報ある 朝香宮鳩彦王殿下

◎王世子と御親密 御來鮮の朝香宮殿下

李太王殿下國葬御參列の爲朝香宮鳩彦王殿下御來鮮の趣きは別刊の通りなるが右につき李王職某事務官は語る『當職にはまだ何等の御通報もないが朝香宮殿下は竹田宮、北白川宮兩殿下と共に王世子殿下とは非常に御親密に亘らせられる目下陸軍少佐で大正六年中陸軍大學生の御資格を以て滿洲戰跡御見學の歸途京城に立ち寄られ其際昌德宮を御訪問になつたので李王、同妃兩殿下とも御顔馴染である今度の御來鮮は如何なる御資格か表向きの御發表もない今日無論解らぬが畏き邊かり御差遣の御沙汰があつた譯でないとすれば多分皇族として御參列になるのであらう然し何れにせよ御來鮮になるとすれば御一方でなく或は妃殿下も御同伴になるかも知れぬ』

◎寒心す可き…… 西伯利の衛生狀態 我醫藥界發展の好機(四)

從軍記者 早川巳之利

日本人が公衆衛生に對する知識が乏しいことは常に識者の寒心する所となつてゐるが、西伯利に來て見ると、吾人日本人必ずしも悲觀するを要しない、露西亞人は何事に對しても、統一と組織とが缺けた國民であるが、衛生行政の方面に於ても洵に遺憾なく缺陷を曝してゐる、假へば各縣及び州廳の醫務局は內務警務局の監督を受け各州市郡の衛生課は醫師藥局保健に關する諸般の事を司り、各市郡內の醫師は醫師會を組織して各種の評議をなすことになつてゐるが

現今の露西亞 では政治の中心

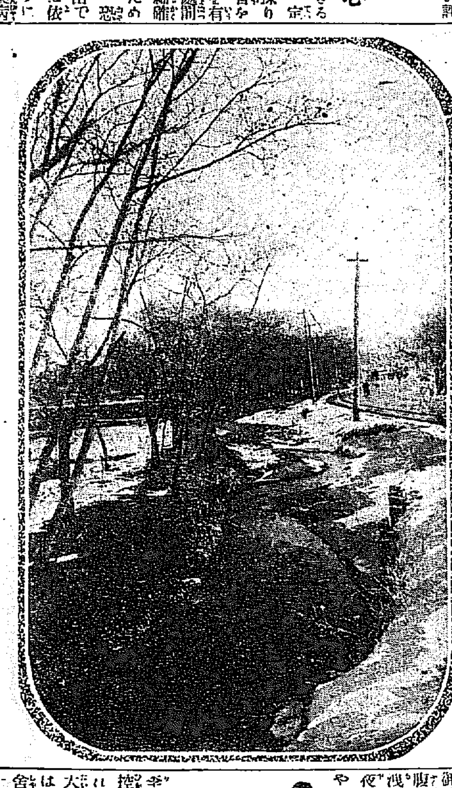
を亟け、內務省の權限大ならざる結果各衛生行政に統一なく、一定方針なく、各種各様の方針を採りつゝある、醫師も亦傳染病患者を診療した場合は屆出での義務を有し、若し手續きを怠る場合は處罰さる、規定であるが當局の取締確實ならず、規律弛廢してゐるためコレラ、窒扶斯等の如き、恐るべき傳染病を診療するも屆出でない、法定傳染病も各行政區に依り一定せず、ノウニコラエスクに於ては腸チブスのみを法定傳染病

二十四種の多きに上り甚しきは急性

とし、チエリヤビンスクでは胃腸炎を傳染病中に數へつゝある如き滑稽を演じつゝある、病收容方に就いても何等故障なく堂々たる官立病院に於て、再歸熱腸チブス患者も胃腸炎第二期患者と混合して同一病室に收容し、一九一五年にはペリヨゾフカ兵營の俘虜數萬中チブス大いに流行した際にも露軍醫は混合收容して大いに猖獗を助け途に三千人の病死者を出した、記者はウラル戰線の歸途トムスク大學を參觀したが其時大學教授の案內で外科、內科其他各室を廻つて驚いたことには此處でも再歸熱や腸チブスを

一般內科患者と混合收容し

然も傳染病患者を診察しても手を消毒せず、入浴にも同一浴湯を使用せしめつゝあつた、これには專門的知識のない記者も一驚を喫して何故傳染病患者を隔離收容せないのかと訊づねたが、教授先生平然として之等疾病は飲食物以外感染しないから混合收容は何等危險を伴なはぬと答へて、虱其他の昆蟲の媒介に依る危險を顧慮する模樣もなかつた、最高學府に於て斯くの如く幼稚、低級なものであるから、其他は察するに餘りありで斯る幼稚な衛生知識に信賴する住民こそ眞に同情に堪へない。



◇雪解け=東大門外=

◎大西洋橫斷飛行 米國でも準備

大西洋橫斷飛行を計畫したる英國海軍飛行隊の報告に基き米國海軍當局も亦大西洋橫斷飛行の準備を命ぜり(華盛頓電報)

◎東京に居る朝鮮學生 中學以上大學迄の在學生が五百 少數の不良分子もあるが眞面目な生徒も多い=◇

在京朝鮮學生の出版法違反事件に就き大島官房主事は『秘密結社等は既に法律の禁ずる所で斷じて許さぬし、旁一部學生を拘束した迄で當局の方針としては、元來之等の學生は前途あり、相當の知識ある者であるから今後共客氣を誡めて成る可く親切に取り扱ふ所存である』と語つたが目下市中に在る鮮人は總て〻千二百名と註され內中學以上大學迄在學の者が合計四百八十名此外

◇女學生卅名 許りあるが此は多く女子醫學專門學校に在學中である、男學生の最大多數は政治、法律、經濟方面の研究者で郷里では何れも中流以上の資産家の出であるが貴族、名門名士の子弟は殆んど見當らぬやうである、此の學生を學校別にすると明治大學の六十六名を筆頭に日本四十九名、中央卅五名、早稻田廿七名、慶應十五名、專修六名、法政五名、帝大三名の二百一名だが帝大、慶應以外の各校五割以上の學生は單に籍を置くに止り通學者は甚だ少く

◇轉校退校等 が絶えず行はれる又實業方面では農科大學三名、高等工業四名、高等商業九名を筆頭に工手學校程度の十七名、醫學生では獸醫、齒科方面が十三名、又宗教方面の者を擧げると青山學院八名、明治學院十三名、東洋大學六名、曹洞宗六名がある其他は高等師範三名、外國語學校二名、音樂學校三名、第一高、中學生等で年齡は十七歲以上卅二歲位の老學生も居る後半の多くは極て眞面目な研究的態度を執つて居る而して以上

◇各校卒業者 の活動は未だ目立つたものは少い此は入學熱の流行つたのが最近の事で學半に歸國する者もあり、從つて卒業生の數が頗る少いからで、法科卒業生が郷里の裁判所書記や、小役人となつて居る者十數名に達し辯護士、判檢事等は指を折る程も無く、反つて徒衣徒食して居る者が多い有樣である(東京)

◎成瀨前校長の其後 病勢は進む

去月二十九日告別式を行つた日本女子大學前校長成瀨仁藏氏の其後の經過につき藤原女史は語る『先生はその後少しも御變りはありません、病勢は漸次進んでゐるのですが、其の割に外觀には衰弱も目立ちません、二木博士と矢田醫學士が毎日診察されて居ますが、食物は脂肪性のものは消化が悪いので、その外の物は大抵食られます、スッポン、蟹、肉類卵類等の淡白なお料理に果物としては、メロン、イチゴ、トマト等を好まれるやうです

△訪問客が 多いに拘らず先生はどなたにも御目にかゝるのを義務とされて居ますが、醫師の注意もあるので、傍から控へるやうにして居ます、今日も澁澤さんがお見わになり、先日は大隈さんがいらつしやいました、大隈さんは御足が御悪いのに、よく先生の二階の御病室に上り下りをされますので、先生も大變喜んで居られます、其他

△櫻楓會の 方々、在學生の御見舞の草花で一ぱいです、御病室は引きも切らずなので、偶訪問客の少い時は新聞雜誌を讀まれたり、又心に浮んだ御感想を手帳に書いたりなどなされて居ますそして先生は『體は病氣だが、心は病氣でない』と仰しやつて却々御元氣です、たゞ御困りのことは腹部の壓迫の激しいのと、膽汁が溢れて全身にまはることで、殊に夜分等は手足がかゆくてお困りのやうです』(東京)

◎温突一間十五圓 金谷里の民家 貴族連當惑す

李太王殿下の御葬儀を目睫の間に控へて金谷里は俄に活氣付いた夫れは御墓所工事が始まつて多數の大工や人夫が入り込んだのと一つは御葬儀の貴族連が先を爭つて宿舍の借入れに從事したからである御葬儀の前夜及び當夜李王、王世子、李堈公各殿下は

◇齋宮に 御泊りになり一般の御會葬者は墓域內に特設した假舍と特に借入れた私立學校で夜を明かす事になつて居るが貴族連はこれでは迚も辛抱が出來ず少々窮苦しくはあつても矢張溫突が好いと云ふので言ひ合はしたやうに御墓所附近の民家を借入れる事にしたのである、が金谷里は村中皆寄せ集めても僅

◇三十戶 よりないので忽ち貸間の拂底を來したさあ當惑したのは貴族連で果ては金は幾らでも出すからと財布の紐を解きながら哀訴嘆願する始末に里民の方ではスッカリ足元を見て仕舞ひ『では五圓なら』『イヤ十圓でなくちや……』と段々相場を競上げ今では溫突一間に一晩十五圓も出さねば

◇貸し手 がないと云ふから驚かされる流石の貴族連も金の生る木は持たず是れには聊か頭を惱まして居る相だが然し然うかと云つて[illegible]幄舍の中で慄へて居る譯にも行かず此邊は當局で何とか取締つて貰へぬものかと零して居る

◎エベルト 獨逸の假大統領 今年四十八歲

獨逸國法議會で假大統領に當選した、現宰相フリードリッヒ、エベルト氏について某氏は語る『エベルト氏に關した事は詳細を知らぬが氏は確か本年

◇四十八歲 と記憶してゐる年齡からすれば未だ若い方ではあるが頭腦の明晰な事、策に富み人格の高い點に於ては他に其比を見ぬ位な人物である元來氏は仕立屋の息子に生れ、少年の頃馬の鞍を製造する職人となり、貧しい生活を営み乍らも熱心に學問をして居たが而して廿一歲の時氏は新聞記者となり二十九歲でブレーメンの勞働幹事となり千九百五年に獨逸社會黨中央部の幹事となり尚千九百年から同六年まで引續きブレーメン市會議員及びブレーメン選出代議士となつた

◇社會民主 黨內にあつてはシャイデマンに次ぐ有力者で昨年十一月獨逸に革命が勃發するやマキシミリアン宰相の後を承けて宰相となり過激リープクネヒト等スパルタカス團の過激派が伯林其他で大騷動を起した時直ちにそれを鎭壓して

◇並大抵の 手腕でない事を示し今回大統領に選出されたのが事實ならば同國に取つて誠に結構な事である』

毎週ポンチ 『凸坊の室內運動』 ごみ

◇日增しに暖かになつて來たので凸坊君大いに元氣付き學校から歸ると直ぐスポールと密着して或はテニス或はベースボール近所の子供達を相手に蒸日でゐる

◇凸坊の御父さん曰く『屋外で運動をするのは良いけれど又悪性感冒にかゝるといけないから當分の內室內運動をしたらいゝだろ』……

◇そこで凸坊君今度はフートボールの下に紐を付けて之れを天井からぶら下げて朝から晩まで一生懸命に練習のまれなして居る

◇今日も朝から汗を流し乍ら盛んにやつて居る處に朝れ ばうたした御父さんが凸坊の室へ入らうとした時丁度凸坊の拳がはげ頭をぽかり、ピカツ……さみ

◎遭難水兵 死體全部發見 合同葬を行ふ

軍艦平戶のボート轉覆し行方不明となりし十一名の死體は十三日午後七時全部引上げを了したれば十五日合同葬儀を練兵場にて行ふべし合同葬儀は曩の河內過般の矢矧今回の平戶にて前後三回異にて行ふは珍らしき事なり(吳)

◎お雛になるまで 精神を打込んで……◎ 名工玉秀語る

桃のお節句も近づいて來ました。店にはお雛さんが客を待つてゐます。此雛人形が一つの美しいお雛様に出來上る迄の經路や雛の種類などに就いて目下東都一の名工と稱はれてゐる

△玉秀こと 澁栗長五郎氏は語る『御承知の通り此雛遊びは京のお公家様が親王や官女達を模してざつとした紙雛に製作した人形で遊び、それが公家の內職となつたところから人形は總て京物であるかのやうに稱はれてゐますが

△元祿の中 頃世が泰平奢侈になつた頃、江戶物が京物を壓迫し次に明治維新の前後京都に移りましたが近來再び東京の物が歡迎されるやうになりました。先づ一つの人形を製作いたすのには普通は心がおが屑じよが上物は何れも松の木などに小刀を以て其原型を取り、それに牡蠣殼に胡粉を混じ(此牡蠣殼は數千年前のものに限るので東京では南千住潮入一帶の地を發掘して製造します)これに膠など混ぜて全く

△滑かな灰 のやうになつたのを塗るのですが、これが非常に難しいので普通のは二三十遍上物になると五六十度は天陽に乾しては塗り直すので、これに依つて顏の容や色澤などが差別されてゆくので、眼は矢張り硝子の柔かいのを入れて絹具をつかひます、そして頭髮を最後に植ゑつけますがこれは生絲の練らない、すが絲を染るのです、然うして頭が出來上つた時衣裳をつけますが扱てこれを大別すると頭職と胴職と小道具職とになります。目下

△此お雛樣 を分業にすることが盛んになりました。これは其捌方が多くなつた爲めで結構ではあるが、眞に精巧な人形は決して此分業に依つては出來上がらないので、自分が慥うノ\いふ精神を打ち込んで一つの人物を畫き出すのに心なしの他人の手に觸れて機械的に弄られては全く其理想は亡びてしまふ次第で、この職人たる者も一つの畫工や彫刻家と少しも違ひはない

△寧ろ非常 に六ケ敷いもので時代々々の風俗や顏面の表情を不斷に研究する必要があるのです。又衣裳は金襴地は今も西陣職子類は桐生足利産で餘は東京ものです、此胴職を私は初めから婦人にやらしてみましたが、婦人には最も適當な職業で、たゞもう少し頭腦のある婦人達に依つてなされたら今にごしノ\此頭職も出來るやうになりませう。(東京)

◎火災多し 注意せよ ◇炬燵と溫突

京城市內に於る火災數は本年に入つてから著しく增加して一月が一日平均一回强即ち一月中に三十三回あつた之れを火事年だと云はれた昨年の午年の一月に比べて尚ほ二回の增を示して居る而して本二月は何うかと云ふに一月よりもずつと多く十五日迄に既に

◇二十五回 に達して居る此分で行くと前途は未知數だが五十回にも上る事となるので一般市民は惴々たる有樣である之を昨年に比べて見ると本月は十五日で昨年の二月中に於ける火災數二十五回の二月中の火災數を乘り越して居る譯となる右は市內の發展に伴なひ年々膨脹して行くのに逆つて火災も幾分か增加して行く事は免れない事であるが一般市民は少し

◇注意する 事が肝要で其主なる原因は內地人側は炬燵より鮮人側は溫突より失火が多いと

◎本社代理部擴張 百貨店式となすべし

本社代理部は從來營業局の一部に於て營業中の處今回大擴張計畫の下に本社階下左方中央試驗所製品陳列販賣所へ移轉する事となり五日同所に移轉營業を開始せるが商品は中央試驗所製品の販賣は勿論從來本社代理部販賣の商品を精選し廉利を以て一般顧客の需に應ずる事とし尚ほ向後は商品の種類を多くしデパートメントストア式となす計畫中にて目下鋭意準備中なるが此外朝鮮各道の主要物產及び特產物をも陳列販賣をなし一般の便宜を計る事となれり

灯しぼ

米國では歐州戰爭中は壯丁が海外へ逃げ出すと云ふので▲特別用務のある者の外一切海外旅行を禁止して旅行免狀を下附しなかつたが▲講和で此程此禁止令は解かれたので今年は大々的世界漫遊を試みようと云ふ連中が非常に多い▲夫に諸外國人も又用務を兼ねて漫遊しようと云ふ有樣なので今や何處の國でも旅行熱が熾な物ださうな▲從つて今年は世界中が是等漫遊客の爲め定めて賑ふ事であらうが▲殊に世界の公園の稱ある花園の日本を振出しとめてる者が非常に多く▲朝鮮ホテルでは既にこの通知を受けた者が數組の三十餘人に達して居るがこ▲それに今度は家族的旅行者が多い模樣で此分なら今年は珍らしくホテル滿員ださうこはホテルの一員のニコノ\

◎雁治郎の洋行說

雁治郎も勘彌と共に洋行する說が傳はつて其れが眞となり

◇松竹 から出掛ける松居松……して海外の劇壇を視察するには絶好の時機だといつてる帝劇からは伊坂梅雪氏が岡本綺堂氏と……已も後れはせじと力むでゐるといふ事で皆夫々賛成となつたらしい又新劇團の上山草人夫妻も三月……と共に近き將來に出かけるといふ說も大阪では喧傳されてゐると(東京)

◎連絡船上陸客 十五

……

天氣 京城地方 自十六日午後六時 至十七日午後六時 晴一時曇

▼京城今朝氣溫(攝氏)

演藝案內

有樂館 ▲人情劇 磯打つ浪 全五卷 ▲滑稽 偶然の結婚 全一卷 ▲米國ユニバーサル會社特作品 幽靈船 ▲森の朝 全五卷

黃金館 ▲喜劇『凸坊奔之卷』 ▲舊劇 殿樣源次 全四卷 ▲第三鐵道王の娘 ▲新派 新野崎村

大正館 ▲活劇 懷劍 全三卷 ▲救命機 全二卷 ▲舊劇 矢口の渡し 全三卷 ▲悲劇 乳姉妹 全六卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 十五日より毎日午後六時半開演 京阪合同落語一行

休戰と毛布 (買遲れて後悔する勿れ) 東京神田 株式會社東京織物仲繼店

電話 八五五番へ ▲特賣廣告▲ 書畫用純白絹地 京城日報代理部 振替口座京城三〇〇番

三島隆平 府川邦弘 北鮮鑛業所 齋藤新太郎

解雇廣告 小林美之輔 勝呂組京城支店

▲債券▼ 關東都督府認可 公債債券月賦販賣 大連債券株式會社 公債債券現物賣買 營業案內無代送呈

▲月やく▼

慢性りん病 藥劑師 淺田藥局

ハカリ印のヘブリン丸が かぜねつの最良藥として專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗頗る的確なるに因る

[...]何方かは知らないが[...]關係の人や俳優連の[...]するものが大分に多い噂から出た眞とやらで猿之[...]り歐洲へ出掛けるが、松居氏の說に依ると目下米國には歐洲の名優達が大分に集まつてゐるから渡米[...]行說も持上つてる始末だ、更に及新派の河合武雄氏も此の外遊をするとの說もあるし井上正夫氏もと思ふと[...]らく

◇懸案　となつてみた雁治郎の洋行說が再發して、松本幸四郎

朝鮮統治の狀況(十)
大正七年に於ける諸般施設

◆吏員の養成　に關して朝鮮內地に於ける殖產工業の勃發及び海運界の進展に伴ない遞信事業亦異常の發展を來し從來の如く小規模の養成機關を以てしては到底之に適應し難きものあるを以て大正七年一月養成機關を擴張し在來の遞信吏員養成所を遞信吏員養成所に改め同時に學級の增加及び其の內容の改善を加へたり。大正七年中に於て通信乙種傳習生內地人八十八名、朝鮮人四十四名、航路標識傳習生四名計百三十六名を養成し卒業と同時に朝鮮內各地郵便局及び航路標識に之れを配置したり。而して現在に於ては內地人二十九名、朝鮮人二十五名、後者は八名計六十四名を養成しつゝあり。又郵便所に配屬すべき通信別科傳習生は京城及び釜山兩郵便局に於て內地人十七名、朝鮮人六名計二十三名を養成し、何れも府內各郵便所に配置せしめたり。茲に特記すべきは前記養成機關の擴張と同時に朝鮮人に對する一學級を設け之れが入學募集生五十名に對し應募者五百二十九名の多數に達したるのみならず入學後の學業成績並に技術修得の進步顯著にして養成期間內地人七箇月朝鮮人十箇月なるも內地人同樣七箇月にして所定の科目を修了したること是なり。之れに依りて觀れば電氣通信技術者として鮮人は內地人と毫も差異なきを證し得べし

◆海事　に關しては鴨綠江及豆滿江に於ける漂材木は一般河川に於ける漂流材木と同一に朝鮮水難救護令を適用すること能はざる爲大正七年六月救護令の一部を改正し同時に前記兩江に於ける漂流材木の取扱に關する件を制定實施し越て八月同令施行規則及び取扱手續中の一部を改正發布し又地方費又は府面の費用を以て航路標識を設置することを得せしむる爲大正七年十月朝鮮航路標識規則を改正發布したり

◆命令航路　朝鮮總督府命令航路は從來實行せるもの外新に北鮮より裏日本に通ずる唯一の航路たる淸津敦賀線即ち日本海橫斷航路を大正七年四月より開始し之が爲北鮮對裏日本の交通上至大なる利便を享有したりと雖も一方社外船の沿岸諸港に出入する船舶は時局の影響を受け其の數倍々減退し朝鮮沿岸各地に寄港せる長崎大連線又は大阪安東縣線の如き主要なる航路も三月以降廢航するの已むなきに至れり。又朝鮮郵船株式會社の自營航路たる鎭南浦大連線も其の就航船の沈沒に依りて休航するに至り西鮮と滿支との航運は著しく減退したるも西歐戰亂休戰の結果一旦廢航したる航路を復活せしむるもの或は新に航路を開始せむとするものありて漸次廻航の復舊を見るべき狀況となれり

◆船舶職員試驗　は仁川、釜山に於ける定期四回、鎭南浦、元山、新義州、木浦、淸津に於ける臨時六回計十回にして此の受驗總人員二百五十九人內合格者百七十一人なり外に淸津に臨時一回執行中に付本年中には成績判明に付追報す

◆沿岸航路標識　は大正七年中燈臺二基浮標一基計三基建設し尙ほ燈臺標二基は目下工事中なり

日本海航路建議案
衆議院にて　高見之通氏演說

諸君、本案は昨年第四十議會に於きまして同じく建議案として議題に上りましたが、委員會に於きまして賛成議員の中會期切迫の故を以ちまして、不幸流會になつたのであります、吾々之を以て遺憾として居つたのでありまして、今年再び此建議案を提出することになりました。本案は朝鮮の淸津、元山と敦賀といふ此の三角航路が現在北鮮航路として開始されて居りますが、此の線を石川縣の七尾と富山縣の伏木迄延長することの希望の建議案の性質であります、而して此建議案の趣旨を說明するにつきましては、現在のこの實施されて居る北鮮航路の價値如何といふことを研究するの必要があらうと思ひます、此航路は昨年の四月から開始されたのでございますが、航路を起すの始りは、元山の發展を喚起したといふことの關係上から即ち京元鐵道が敷設されて、元山が非常に發達したといふことの理由と、淸津會寧間の鐵道が出來まして、淸津港の發展を喚起したといふことの關係から致しまして、朝鮮總督府は朝鮮郵船會社に年額二十有餘萬の補助金を給しまして年三十有餘回の定期航路を開くことになつたのであります、其航路を開始される時に於きまして、朝鮮總督の當局者に於きましても、此航路は果して直に成績を擧げ得ることが出來るや否やといふことに、實は幾分杞憂を持つて居られたやうであります、此事は昨年の此の委員會に於て、朝鮮總督の當局者も左樣に杞憂を懷いて居られたことは明であります、然るに成績は意外に好くなつたのであります、大正七年一年の四月頃開始されてから十二月の成績を申しますると、會社の收入は十一萬三千圓、支出は十五萬圓でありますが、補助金十三萬圓を之に充當致しまするご、差引八萬圓の利益を擧ぐるに至つたのであります。さうして貨物は非常に澤山に殖ゑるのみならず乘客の如きも、此線路を取るものが漸次增加しまして、日に益々盛況を呈する狀態に至つたのであります、去りながら此線路の當初開始されたる主たる目的は、此北陸地方を寄らさしたのでありませずして、京阪名古屋方面の貨物が、此所を經て釜山を通つて京城に出るところの線を短縮するの意味に於て京阪及中京の貨物を寄らさして居つたのであります、是に於て若し北陸方面に於ける諸般の物資が、此線路を十分に利用するの機會を與へたならば、どれ程の發展をすると云ふことが、茲に分つたならば、多くの言を費さずして吾々が提出したる建議案はどれ程理由があるかといふことは明瞭と信じます、北陸方面の中心として、石川縣及富山縣の此縣外に對する所の價値如何と申しますれば特に諸君の御記憶を喚起して申上げたいと思ひますことは、北海道の方面なぞへ出て行つて、今日の北海道を開拓したことの最も効績の大なるものは、石川縣富山縣の二縣下の人間が最も好成績を擧げたのであります、特に著しきは此二縣下の人間は寒氣に耐へ、困苦に耐ふるといふ特質を持つてゐるのであります、斯る者を以て若し北鮮、殊に今日此淸津の方面から會寧、進んで吉林線に於て漸次滿洲の方に向つて色々事情が起る、此方に向けたならば、多大の成績を擧ぐるといふことの、確實なる過去の歷史を有つて居ることが第一點であります、其他一に富山縣の方面を見ますと、諸君特に聽いて驚きたいのは、全國に殆ど所有の水力電氣の馬力は約二百有餘萬馬力ありますが、其中の百有餘萬馬力といふものの潜勢力は此富山縣にあるのであります、是等の水力電氣が漸次實現されると共に、最も開拓さるるのは富山縣伏木港の附近であります。此現在出來て居る所の諸般の會社、殊に此の電力を應用する文明的の會社が非常に澤山出來て居るのであります、是等の物資がですな、若し北鮮の航路に連絡を得ることが出來たと致しましたならば多大の價値を上げるのであります、現在でも伏木から出て各方面に移出する所の金額は、年分少くとも千五六百萬圓は出て居るといふ狀況であります。又石川縣七尾港の價値に就いて申しまするといふと誠に事上に於て全國の總個々の區に分けて見ますといふと、北陸の方面に於て將來の金澤市を中心にするといふことは石川縣の非常計畫を爲すといふ時に於て、石川縣も明瞭なることであります。今日の時勢は昔と違ひまして、長春奉天及び吉林方面迄の何もの問題が起つたと致しましたならば此一旦緩急ある秋に於ては、之に對して直ちに活躍の脈絡の基礎を爲すべきものは、惟ふに將來北陸の方面であらうと思ふのであります、若し夫れ此線路が開始されてさうして一年に數十回の往復が出來たと致しましたならば、土地と滿の關係が、遂に北滿との間に軍上有力なる連絡を爲すと云ふことは、私が多くの言を費さずとも、日本の地圖を一瞥した人は、直に了解が出來るだらうと私は信ずるのであります、軍事上の方面から觀ましても、又經濟上の方面から觀ましても、石川縣及び富山縣の是非北滿に關係し、又朝鮮の方面に偉大の關係が有るといふことは御了解になつたことと思ひます、が、然らばです、是等の問題を解決するに、幾許の補助金を要するか、斯く申しましたならば、實に僅々たるものであります、現在朝鮮郵船會社は朝鮮の各方面の沿海の航路を引受けて居るのでありまして、年額の補助金は約八十萬圓程取つて居るのであります、而して此淸津港より元山、元山より敦賀、此間浬數は總計合せて六百七十餘浬あります、而して敦賀より七尾に至る浬數は、漸く百八十浬であります、七尾と伏木は目と鼻の間に在りまして二十六浬要するにですな、元山と淸津敦賀との間の浬數約七百浬といふものに對し、二十有餘萬圓の金を投じて居るのでございまするからして、其三分の一にも當らない敦賀と七尾と伏木との間の漸く一百浬、之に年額七萬圓若くは八萬圓の補助金を與へたならば、十分なる成績を擧げるだらうと私は信じて居ります、而も以上申上げたやうな多大の利益、多大の成績を擧げ得る理由あるにも拘らず、僅か七萬圓若くは八萬圓の補助金を與へれば斯の如き事が出來るのに、今日迄之を打捨て置いたと云ふことは、殆ど意味を爲さないと私は思ふのであります、殊に向ては申上げて置きたいのは、此伏木と北海道との間裏日本の沿岸は、全部伏木を中心として居るのであります、それ故に若し此航路を開くことになりますれば、僅々一年額八九萬圓の金を投じて、時に定期航路を開くといふことに至りますれば此結果に依つて、北海道より秋田縣を經、新潟縣を經て此富山縣に至る所の、長い間の連絡が直に取れて來ると云ふ、多大の附帶する利益があるのであります、以上の實行上に於きましても斯の如き僅かの金で、さうして北鮮郵船會社の取つて居る年額は、今申上げた八十有餘萬圓の補助金を受けて居るのでありますから、是だけ僅かの金それに假りに多少の損失があつたとした所が會社の維持が出來ないと云ふ譯といふものはあるべからざる事であります、況や昨年の四月此航路が開始し北鮮航路が開始さるゝ少し以前に朝鮮の局者は、果して是が相當の利益を擧げるであらうか、どうかと云ふことを杞憂して居つたに拘らず、一度開始すれば是だけの利益が擧つたではありませんか、之に僅か八萬圓若くは九萬圓の金を投じて、さうして此航路を開始したと致しましたならば、多大の利益を生ずると云ふことは、私は以上の理由を以て、昭々として火を睹るより明かなりと信じます、元山及淸津に關する所の價値は、與田君なり或は牧山君なりの言に依つて、十分に說明されて居りますから是等の發展は日に益々盛くであります、又今申上げたる石川縣及富山縣の將來の繁榮は、今申上げたやうな理由を以て十分御了承になつたものと思ひます、斯の如き理由の上に立つて、僅かの金で此航路が開かれて、さうして多大の功績が得らるると云ふことでありまする以上は、直に朝鮮總督府は之を實行されて宜しいものと私は信じます、以上の理由を以ちまして、是非此案に御一同諸君は御贊同下されんことを殊更に御願致します

大連近事
十三日　大連支局發

◆司法事務　關東都督府に於ては洲內裁判事務取扱令同細則罰金及び笞刑處分令及び同細則並に民事に關する改正に關し昨年勅令改正の件を政府に稟請する處ありしが未だ其の公布を見るに至らざるを以て今回參事官今井俊彥氏は法制局と交涉の爲め十三日東上せり右は議會開會中滯京し議會に提出中なる都督府豫算中の法院大連支廳新設に關する法官以下書記增員に關する官制改正の件並に始め其他幾多の停滯せる件案に就き當局に對し進捗方要請する筈也

◆取引高　大連取引所鈔鈔部に於ける大正七年中の金銀取引高は現物にて銀鈔五千二百九十萬八千圓銀對小洋五百四十二萬三千圓先物取引は銀對金九千五百八十八萬五千圓金對鈔紙幣五千百二十四萬二千圓なりしと

◆市會議員　大連市會議員神成季吉氏市外居住の故を以て失格し補缺として淡路町三星洋行主任國政與三郎氏當選就任せり

◆披露會　新任大連民政署長中野有光氏は十六日午後七時より大連官民有志を扇芳亭に招待し新任披露の盛宴を張りたり

奉天に大學

◆醫學堂を昇格して　奉天南滿醫學堂にては同學堂を大學に昇格し同時に大學附屬出版部理化學研究所圖書館博物館等を設置し大學としての遺憾なき諸般の設備を爲さん事を滿鐵本社に建議したるが之れに就き滿鐵本社當局談に曰く奉天南滿醫學堂が南滿に於ける醫學界の權威なる事は今更改めて云ふ迄もなく其の社會に貢獻せる處亦尠少ならず滿鐵會社は更に進んで同學堂を大學級に進め同時に世界各國の醫學大學に比して遜色なき完全なる大學とせん事は年來の希望なるが未だ其の實現を見るは本年なりや或は明年となるや未定なるも同學堂を大學とする計畫あるは事實なり而して同等の最高の醫學機關たらしめんとするものなれど更に本社に於て討究を重ね滿洲特種の事情に鑑み取捨斟酌して實際支那社界に貢獻多からしむべく研究を進めつゝありと

木材は強硬

◆當分低落の見込なし◆　事業界の勃興と共に需要激增しつゝある木材界は近時全般を通じて在荷拂底を告げ居れるが某消息通の語るところに據れば目下鮮送難の爲め市場概して品薄く現狀の儘推移するなれば到底當分下落の見込みなく北派材の出廻るに至らば或は若干下押も見るべきやも計り難く目下のところ市價強硬の氣構へなりと(平壤)

追放されて

◆國境外へ行く大商人◆　去る十二日午後九時半着の南滿列車にて獨墺人二名支那官憲に護衛せられて長春に來りしが彼等は大戰前哈爾賓に居住し大規模の商業を營み居たるが露國參戰と共に北京に避難し居たる處今回支那政府の命令により哈爾賓を經て國境外に放逐する事となりしものにて驛前の食堂にて晚食をなし驛前支那宿舍に一泊し十三日再び支那兵に護衛せられて北淸列車にて北行せり

支那武官異動
營長は馬賊の頭目たりし人

今回洮南駐屯第二十九師騎兵第五十八旅六箇營と砲兵工兵機關銃隊より組織さるゝ二箇營とを以て混成旅團を編成し司令部兵團長たりし石得山少將司令官となり西伯利へ出發赴任したるが右補充として二十七師の一部派遣に決したるが兵數等は不明なるも四鄭線八面城には元馬賊の頭目たりし天下好營長となるべしと云ふ(長春)

[...]山口太兵衞、木田新[...]外八三名
二等(六十二名)川添貢一、同喜久子、戸叩きか、島岡米三郎、岸本いし、同さか、ゐ、上野源八、辻本もと、東畑一、大生
同永山、金聯の長、内山與吉、[...]白南慶、金淳愛、李英淑、山田曾一、同あい、同あつ、狩田鎭、梅崎併、同はる、逸藤二郎、同肢、同一郎、同鈴子、上田
[...]上田馬、西賀儀一、網子鴻、[...]高山安吉、明信子、秀雄七、林利平、大津政市、同きさ、喜多宗一、岩崎寛藏

勤儉貯蓄(江華島)

江華郡の方針に依り勤儉貯蓄組合に於ては左記の方法に依り勤儉貯蓄を獎勵し本日より之を決行すべし

(一)近來農家の副業に依る繩叭の生產頗る多額により當業者は相當の餘裕を有する狀態なるを以て繩叭生產販賣組合を設け面に於ては叭十枚繩十束の代價を每月貯蓄し前記繩叭の副業を爲さざる各戶に對しては其他現品を貯蓄せしむる事は此の困窮の狀態なれば一戶當鞋十足を製造し之れが代金を貯蓄に充つる事

(二)酒類製造業者即ち飮食店營業者は他の營業に比し收益多く總て金一圓以上の貯蓄を爲す事

(三)漁業者は昨年豐漁に次ぎ漸次盛況に趣き當業者は相當の收益を得つゝあれば每戶一圓以上の貯蓄を爲す事(以上は本月より決行し郵便貯金若くは金融組合に於て貯蓄す)

夥しき滯貨(鄭家屯)

鄭家屯來信によれば昨年來四鄭鐵道局の貨車配給潤澤ならざりし結果年末には同地に約一千噸の滯貨を生じたるが運賃其他の關係上各驛より鄭家屯に搬出せられたる貨物は近來荷馬車を以て殆んど三江口驛に集來する事となり目下既に同驛には一千噸以上の滯貨ありと云ふ(長春)

情死のあつたのは是が始め(長春にて)

長春東十八區料理店丸芳方にて抱へ藝妓だるま事吉田ふさ(二三)が馴染客なる東十八區三十二號地材木商盟泰公司梅津賢宗(二九)と去る十一日午前九時ブローニング短銃を以て情死を遂げたるが女は二年前迄大阪にて世帶を持ち居たるも夫が何事かに關聯して入獄したる爲藝妓となり大連松の家の抱へ妓として金城の番より富久助と名乘り稼ぎ居たるが昨年三月長春に轉じ來りしものにて平生非常に快活なる質にて流行つ妓と云ふにはあらざるも風代なる面白き藝妓として相當に人氣もありしが昨年來病氣に罹りて思ふ樣に座敷も勤まらず何彼と悲觀したる爲め情死するに至りしものにて男は福岡縣久留米市通町の者にて商業學校卒業後一昨年長春に來り高橋材木店の店員となり昨年十二月高崎某の後援にて獨立し長春實業銀行に勤務せる實兄及母と共に同樓に居たるが女とは昨年十一月頃より馴染み其がため折角の商業も滅茶々々となりて遂に死を決したるもの、如く九日實兄より吉林に赴くとて短銃を借り受け其まゝ前記丸芳方に至り女を聘びて兩人打合せ翌十日も其儘流連して他の料理店を遊び廻り十一日午前二時頃丸芳方に歸り酒を呑みて夜を明かし九時半頃遺書其他を床の間に置き情死を遂げたるものにて女は胸部に三發頭部に一發男は胸部に一發頭部に一發の銃彈にて兩人共即死したるが長春にては數年前一度藝妓と客との情死騷ぎありしも其の場所が山中なりしと女は未遂に終り今回の如く市內料理店にて兩人共即死を遂げたるは今回が始めての出來事なり(長春)

撫順より

◆歌舞伎芝居　撫順炭坑千金寨倶樂部にては例年の通り去る六日より公會堂に於て部員並に家族慰安の歌舞伎劇の蓋明け致候處非常の好人氣にて毎日午後三時頃より遠きは電車近きは人力車或はおひろいにて重詰其他携行押し掛けるワ〳〵の大盛況にして定員七百名を飛越ゑて千四百名近くの入場者あり場內は壽司詰の狀態にて候、勿論部員外の他坑の者及び市中側をも相當料金の懸隔をなし一般の觀覽を歡迎致居候へば來る十四日を以て終了致す可く候へ共市中側の意向若くは座員の希望によりて兩三日を打ちたる上直ちに大阪へ引き返すべき豫定にて候

◆銀行業計畫進捗中　曩て報道致し候撫順有志によりて唱道されつゝある銀行創立の件は其後着々進捗し居るもの、如く候目下一部發企者中には可成支那側と相當の關係を結び付くる必要あるを認めて該方面に計畫を進めつゝあれば是れ又遠からず解決を見るなるべく豫想されつゝ有之候へば或は豫外速かに計畫發表と共に創立を見るなるべくとの噂有之候

◆米倉坑長の外遊　撫順炭坑長米倉博士は戰後に於ける歐米各地の坑業狀態調査視察の爲め近く外遊すべく決定致候、其の滯歐米期間は約五箇月の豫定の由に候も或は若干の期間の延長を見るやも計り難くとの事に候、殊に空前の大戰爭は歐米各事業界に多大の影響を與へたれば鑛坑業の變化も蓋し甚大なるものあるべくと存候へば此の際同氏の外遊は時期を得たるものにして其の外遊によつて得たる新しき試みの撫順新鑛を初め我が國鑛坑業界に齎す利益の多からん事と同氏の健康を祈り申候

◆石炭費消の節約　近來滿鐵沿線の滯貨夥しきは屢報の如くにて候其の爲め沿線各地へ搬出すべき石炭も貨車の缺乏甚しきに因り豫定の搬送をなし得ず甚しきは當の貯炭あるに反し沿線各地は恐く燃料不足を訴へ某地の如きは採暖用炭にも缺乏を告ぐる窮狀に瀕しつゝあるの現狀に鑑み撫順各坑にても是れに多大の同情を表し坑員全部に對し石炭費消の節約を訓示致候は眞に喜ばしき措置に存じ候、撫順坑員の石炭費消額を節約したりとて決して他地方住民が過に溫暖を感ずる譯にては無之候へ共坑員一萬の同情は如何に曖かく沿線各地居住者の身邊を圍繞し來るかゞ覺ゆかんばあらず候

◆日東油房と特產物　石炭の爲めに壓倒され撫順の特產物を唱ふもの稀にて候が撫順の特產物は決して尠少なるものにては無之候、昨年の廻送八萬噸、本年の豫想は正に十萬噸と註せられ居候、目下既に驛前廣場及び貯炭係員詰所の前ありし處なども既に山積されたる產物に埋れ居申候狀は名の稱せられざる丈け其れ丈け偉觀にて有之候、而して本年より着手されたる阪本搭氏經營の日東油房は計畫着々進捗し既に事業を開始致居候が每日の製高豆粕二百枚にて候が漸次豫定通り四百枚となる豫定にて御座候、該事業の成績の如何は同地の油房事業の多大の關係あるものなれば其の前途の發展を祈り居候匆々

驛員と會社員が保管中の大豆を

◇白晝持出したる事件◇　長春驛貨物係員數名共謀して某會社員を使嗾し驛構內に保管せる大豆數十袋を白晝公然搬出賣却したる件は嘗て報ぜしが其後關係者を檢擧取調中なりし處愈罪狀判明し主謀者其他七名は長春領事館警察署へ拘禁せられ目下豫審中なるが尙事件擴大すべき見込みなりと(長春)

咸興の水道

◆咸興繁榮會の希望◆　咸興に於ける上水工事は目下中なるを以て作業中止し技術者は市街地及び軍營地方面の高低測量に從事しつゝあるが該水道は

▼戰時中　の物價殊に鐵類の價格騰貴時代に設計されたるものなれば二十餘萬圓の工費を計上したるに拘らず規模至小にして給水量の如きも至つて貧弱なるを免れず從つて今之が設計內容を窺ふに咸興の現在戶數四千戶在住者內鮮人合計一萬七千八百四十人と推定し一戶一日の給水量平均三斗一人當り六升八合餘にして之を

▼他地方　の夫れに比較するに淸津の一人一日二斗、群山の三斗、元山の最高給水量五斗と同日に論ずべからざるもあり尙ほ咸興に於ては內鮮在住者の激增しつゝある今日に於て工事落成し給水の開始を見るの日に於て直ちに飮料用に不足を感ずるに至るべく咸興繁榮會の如きは規模の擴張に就き當局に向つて陳情せんと寄々協議を凝し居れり尤も咸興上水道は

▼前記の　群山、元山、淸津等の上水建設と其の趣を異にし地方費及び國庫補助金によりて在住者の直接負擔となさゞるを以て在住者より苦情問題故障を述ぶる譯にはあらざれど旣に當局に於ても之が建設必要と認められて工事に着手せられたるものなれば設計當時に比し鐵類價格低落の趨勢にある今日當局の再考を煩はし度しとの

▼繁榮會　の意嚮なるものゝ如し咸興は由來全鮮中飮料水の不良を以て目せられたる土地なれば上水道建設は聯隊所在地として急務中の急務なりとし戰時中物價騰貴を顧みず斷然を以て工事に着手せられたる程なるを以て咸興の成功の曉に於て、黃草嶺の開鑿工事完成の曉には鐵道開通に於て在住者の倍加すべきは火を睹るより明瞭なれば其の水道の給水量に就きては蓋し再考を要する問題なり(咸興)

姑を殺さんとす
二年間の虐待に堪へ兼て

平南大同郡龍山面堂上里金昌淳妻趙姓女(三〇)は二年前同家に入嫁し夫婦仲は至つて睦じかりしを姑の金姓女(五〇)が猜疑の眼より常に趙氏を虐待するため趙女は再三自宅に逃げ歸りしことありしが其後も虐待することは一樣にして約二年間に及び今は趙女も堪へ兼て女心の淺墓にも一層姑を殺害して夫婦間の[...]く暮さんものと豫てより企畫中のところ去る或る一金女より湯を求めたれば此れを勿怪の幸ひと其中へ劇性藥品及び苦汁を混じて毒殺せんとせしも味の異なる點より發覺され遂に目的を達せず紛紜中を平壤署の探知するところとなり十一日殺人未遂犯として趙女を引致し目下取調中なり(平壤)

通信夫の盜(長春)

公主嶺郵便局通信夫佐々篤一(三五)は昨年九月同局に勤務してより未だ數箇月を經ざる本年一月十六日午後七時頃事務員の不在に乘じ受付に在りし特種郵便物容器中より金四十五圓の價格表記郵便を窃取し其の現金を拔き去り封皮を交換し元の如く表記を書換へ古き封皮を燒棄て、隱蔽したるが此の金は全部同地料理店大和其他にて遊興費消し數日後再び同樣手段にて銀十八元を窃取し以前の如く非行を敢て遊興したる事發覺して其の筋の手に捕はる

天氣豫報
日本海中部　[...]
朝鮮北部　[...]

卅六番角力

毛谷村六助　百四十五席
桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

馬役の加藤權兵衞が床几にかゝつて見て居ると、孫六は鞭を執つて彼の馬にヒラリと跨り、パツ〳〵〳〵と乘り出す、即ち巧者なもの何度となく馬場を往復してエイと蹴込んだかと思ふと砂埃を立て乘つ立て三遍ほど百間四面の馬場を乘廻りました、白泡を嚙んで大分馬も勞れた樣、もう宜からうと孫六がヒラリと飛び下り、鞭を腰に挿し馬の口を牽て參り傍へ繫ぎますと、成程馬はビツショリ汗をかいて居る　孫『殿樣何うでございます　權『偉いな、拙者が責めても斯うは叶ん　孫『こんな伯樂の小倅にも及ばない處を知つて居るは立派な者で、恐れ入りました　孫『上げたり下げたりするな』此時孫六は四邊に人の居らぬを窺ひ　孫『若し伯父上　權『何を申す、伯樂の忰は有たない　孫『何うぞ此を見て下さい』と取出した一包み、權兵衞は手に取つて見ると、兄三之丞の認めたる遺書に黑髪が添ねてあります、大いに驚いて是を讀み下せば三州に於て別れて以來、敦賀の在に參つて筆子を集め幽かに其の日を送つて居つたが、今度重病に罹り茲に冥府の客となる、只心にかゝるは孫六の身の上、何うぞ其方が子と思つて育てくれ加藤の家を再興さしてくれるやう、賴み入る此の書面、讀み終つて權兵衞ハラ〳〵と淚を流し　權『偖は汝は我が甥にてありしか　孫『伯父上におはするか』と暫し互に手を執つて何と言葉も泣くばかり、權兵衞は孫六を伴れて我が家へ歸り、伜の作內光泰に紹介せまして兄弟の約を結びました、是より手許に置いて敎育いたし、信長公に申上げると召抱へんとの御沙汰、それを孫六が辭退して羽柴筑前守秀吉の家來となりました、處が秀吉公には加藤、福島、片桐などといふ何れも血氣な家臣があつて、中にも福島は氣性が荒く物に遠慮が無い、孫六の事を伯樂々々といふ　孫『拙者は伯樂でない、當時は武士で加藤孫六と申す　正『伯樂だから伯樂と云つたのだ』側に聞いて居た片桐が　助『オイ福島、それはお身が宜くない　正『何が惡い、なア伯樂』斯うなると孫六も默つて居ない　孫『默れ此の桶屋　正『桶屋とは何だ』と二人は喧嘩をした、然し孫六は戰場に功を現はし福島を凹まして遣りたいと思つて居りますと、天正の八年播州の三木攻、城將は別所小三郎、家老には後藤將監、此の人は軍事にかけては鬼神と云はれた者で、能く防戰いたします、それが爲流石の秀吉公も大いに苦心して愈々明日は總攻にして城を落すとなつた、それを聞いた孫六茲で大功を現はす一戰、是非共一番乘をしようと、未明に陣中を脫け出し城近く來ると、向ふに一人行く者がある、誰かと見ると福島正則でございます、是は驚いた奴が先へ出懸けるぞ、仕方がないと後から聲を掛け二人揃つて進むと城の上に上つて居る者がある、オヤツと思つて二人が見ると加藤淸正であつた、此の時分は虎々と呼んで居たが二人も呆れた　正『虎』もう鍛冶屋が來て居るか、何うも鍛冶屋の朝起には驚く、オイ吾々を上げてくれ　虎『宜し、此へ捉つて上れ』と槍を出し其の柄を足場にズル〳〵と孫六が上る、跡へ殘された福島が癪に障つたと見ねて、『世』の柄にブラ下つた　虎『然うブラ下つては叶ん』やう〳〵引揚げて時の至るを待つ、折しも山嶽に木精してワツと揚げたる鬨の聲、三人は槍を把つて城中に躍り込み茲を先途と戰ひましたが、中にも加藤孫六は別所小三郎長治に槍を附け大功を現はしました、遂に三木は落城をいたし戰ひ終つて後、秀吉公は孫六へ恩賞を給はりました、其後天正十一年賤ヶ嶽の一戰には七本槍の勇名を轟かし、それより數度の戰場に功名を現はし、就中朝鮮の役には水軍の大將となりました、此の人が檢査役となつたのでございます

慶州牛
慶州にて　筑の水

一　慶北慶州は新羅千年の都城趾にして新羅文明の全盛を偲ぶに足るべき遺蹟遺物の存するありて慶北の東南端に位し東北は迎日郡及び日本海に面し南は慶南蔚山郡、西は淸道郡永川郡に境す面積八十八方里山等により山嶽地に三分せられ沿海地方と郡の西方斷石山脈を貫通せる東大山脈によりて平野を有する大郡にして地形は東部沿海地方は陸上の交通は不便なるも海上の便は鯛漁場地の根據地たる甘浦港により郵船の便を有し陸上運輸は一に人肩牛背に據るを以て此地方よ一般に畜牛の飼養盛んなり平原地は交通の便大いに開け行く處として車馬の通ぜざるなく三等道路四通八達し自動車あり鐵ありて些の不便無く平野坦々慶北有數の農業地にして兄山江の流域には慶州平野の二千町步安康平野の五千町步乾川平野の一千町步朝陽平野の八百町步ありて米穀の年產額は二千餘萬石に達し移出米の年額七萬叺に及べり山嶽地は耕地尠く山又山に連り山內紙と稱する朝鮮紙の產地にして此地方は牧野多きが故に畜牛飼養に最も適す地質は第三紀花崗岩の風化層十珠岩の風化せる壤質土に屬し土を以て土地最も肥沃草木の生育良好にして畜牛の飼養に好適なり氣候は年平均氣溫十三度位にして之れ又畜牛飼養上適當なるを以て古來盛んに畜牛を飼養せられたる跡は何等文獻の徵すべきなく口碑に存するなきも羅朝時代にも之れ飼養せられたると覺しき畜牛の埴土器の見せらるゝを見ても又牧野の形跡及び慶州牛の名稱今尙存するを以て見るも推測するに難からず

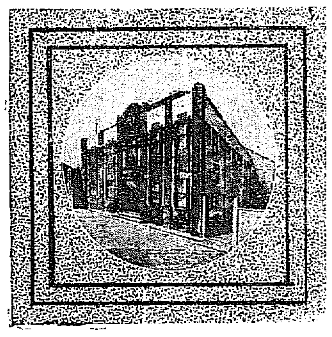
二月十八日　火曜日　舊(一月十八日)　赤口

▼二黑▲熟考に熟考を重ぬべき日
▼三碧▲餘り香んばしからざる日
▼四綠▲骨折り甲斐のなき日なり
▼五黃▲世話の甲斐のある日にして且つ共同事業をなすに好き日
▼六白▲目上より引立を受くべき日なり起業移轉棟上婚禮其他に吉
▼七赤▲意外なことにて喜びのある日、起業移轉棟上婚禮其他に吉
▼八白▲樂き愉快なる日にて思ひ立ちたる事はそれを爲すに利あり
▼九紫▲勞して功なき事に終る日
▼一白▲兎角引つ込み思案の日也

桃谷研究試驗所創製

美顔白粉

◆光榮ある御化粧料三十六種の内◆



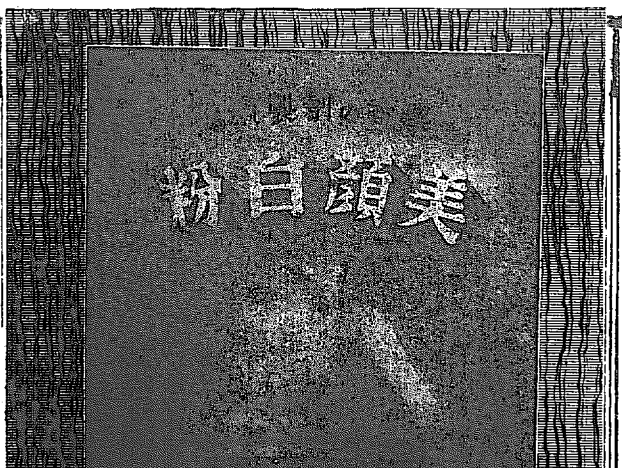
各種の化粧品に就き常に專門的研究を續けつゝある……桃谷研究試驗所

美顔白粉及び美顔化粧料各種はマリー・ルウヰズ孃御試驗の上、常に尊き御方々の御用として推奬せられつゝある名譽の御化粧料にして、今や一ケ年の製產額二百八十萬圓を超ゆるの盛況に達せり

常に高貴方御化粧上の御用に召さるゝ美容術大家……マリー・ルウヰズ孃

◆美顔化粧料三十六種を創製したる 桃谷研究試驗所

▲所長 藥學士 桃谷幹次郎
▲技師 理學士 西澤勇志智
▲同 醫學士 藥學士 米倉昌達
▲同 千葉 藥學士 小磯勝次郎
▲同 千葉 藥學士 齋藤銳助
▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳二氏



◆美顔化粧料發賣元 桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目
東京市麴町有樂町一丁目（實驗所）
大阪市西區靱南通一丁目

▲營業所電話
東京本局 二三〇番
同 一六二六番
同 一六二七番
大阪土佐堀 六四七番
同 六四八番
南 三一二八番
南 四八二七番
同 六二六八番

▲實驗所電話
東京新橋 一六一三番
同 二六三九番
同 三一一四番
振替（東京・大阪）二一五九〇 一八二八番

大正八年二月十七日（月曜日）　京城日報　KEIJO NIPPO　（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）　第四千八百九十一號

京城日報

第五版

[illegible]日本を以て一段落を告げたるもの[illegible]恰も茲に始めて國際聯盟綱要の[illegible]

一國際的紛爭を仲裁々判及紛爭審査會の二方法の何れにか付し決すべきこと

一紛爭審査會は各國より臨時審査員を選出す

▲五大國より[illegible]十名を[illegible]

一原則として[illegible]手段を加ふることとし[illegible]待遇信用等の制裁法の具體的問題

[illegible]べき理由あり更に經濟的及び特權[illegible]として削除せられたりと信ず[illegible]に反對なきも如何なる方法を以て[illegible]限を加ふるやは最も重大なる問題にして徴兵撤廢問題の如きは已に統領の[illegible]底的制限は不可能と見らるべく此問題は原則としてウイルソン大[illegible]國が勝手に戰爭を起す機會を束縛しある位に過ぎざるもの、但し斯の如きものなれば大體に於てウ[illegible]

▲此綱要決定の上は近く正式に聯盟委員會及び講和會議に附して最後の確定を見る事なれど五大國の意見を以て決したる[illegible]に入るものにして此問題の審議は夫々特別委員會に附せられつゝあるも具體的決定を見る迄には尙ほ幾多の日子を要すべきは勿論なり

[illegible]つ八日歸國の途に就き近く更に巴里に來る筈にして問題のウイルソン大統領も多分十五、六日頃を以て巴里出發歸國のことに略決定し[illegible]

[illegible]金剛、扶桑、高崎、[illegible]の各艦に亘りて約二百三十三名を收容する事となれりと

人心の振興を促す（二）
憲法發布卅年に際し

[illegible]微弱なるが如くにして小なる[illegible]の國[illegible]くなるに至りて佛伊の如きも既に戰ふこと足らず僅に鼻息を窺うて命脈を保つのみ英米は自ら之を知りて敢て恐ずや否やを知らずと雖も世界を二大强國を以て支配するの策を樹て爲々として之に趨ふものの如し講和に對し英米は互に意思の了解疏通あるに至れりこの歐洲の經は吾人をして戰慄せしめずんばあらざるなり彼等は必ず以て獨逸の軍隊を破り資本の力は何者も抗敵すべからざるを知り更に一步を進め資本萬能の形勢を造り出し英の强大にして他に比敵すべきなき資本の力を以て世界を征服せんとして曰く國際聯盟曰く海洋自由曰く徴兵廢止と斯くの如くなれば資本萬能にして飽くなきの慾を充たして忍ら妨げられさるの世界を現出せんのみ我が日本の如きは手も足も出す恐らく英米の跋扈跳梁に委せざるべからず樂觀者流は曰く國際聯盟と云ひ海洋自由と云ひ徴兵廢止と云ふ皆云ふべくして行はれざるのみと數個の列强對立して互に利害を爭ふ其實現を見る到底之を期すべからずと然りと雖も今日唯だ英米あるのみ二者妥協己の利とする所を行はんとすれば易々として行はれんのみ徴兵廢止の如きは我に取りては實に偉大の障礙たりと雖も英米は他の困難を困難とするものに非ず容易に之を行はん諸國の兵備を撤去し英ひとり最大の海軍を擁し米と共に絶大の資本を以て諸國を征服す故に百利ありて一害なし諸小國の爭ふと雖も及ばざるのみ而して日本ひとり之を非なりとすることを得るか之日本の死活問題なり太平洋は悉く英米の支配に歸し支那西伯利亞は擧げて英米の勢力範圍たらん我が講和使ヴェルサイユに至り一世の智力を傾倒して之に當るも唯だ彼等の一笑に値せんのみかくして日本は滅亡に陷るの外なきなり予屢々日本滅亡論を唱へたり人或は之を甚らず悲觀に過ぐと爲す然れども今は事全く簡單なり斯の簡單直截なる形勢に處して日本は何に據りて其の生存を萬代に繼がんとするか

日本人は國難に當りて常に最後の決心を忘れず國民皆以爲らく敵國の一兵たりとも我が領土に入り一歩たりとも我が祖國を蹂ふことあらば皆決然として起ち身命を擲して之に當らんと又若し敵兵我を[illegible]り深く內地に迫ることあらば婦女も銃を執り小兒も糧食を荷ひ肝腦地に塗れ四肢粉碎するも必ずや斯の國を護らんと白耳義は獨逸の蹂躪する所となり與國難に赴き遂に之を救へり壯烈鬼神を泣かしむ我豈に白人に劣るべけんや然れども我が國民は常に此の決心を爲しつゝ一たびも之を實行するの不幸に遭遇せざりしなり然るに今や正に其の秋に會す予は今の秋を以て此の決心を實行して國を擧げて護國の任を竭くすべきの秋なりと爲すものなり兵馬の蹂躪を以てひとり國難と爲すは今の時勢を知らざるなり我國小に人寡く物資貧弱を極む英米の間に介在し其の貪婪飽なきの鋭鋒に當りて完全なる獨立の國[illegible]すべからざるは必至の勢なり建國以來未曾有の國難到る我忠實勇武なる祖先が護り來れる金甌無缺の國家は滅亡に瀕はんとす正に是れ興國一致各人身を擲して國難に當るべきの秋ならずや

而して今日本の國內は如何の状予は今內閣に立ちて一國の運命を負擔する人々が如何の人物なるやを詳かにせず然れども此の人々を以て斯の重大なる時機に際し七千萬人が斯の重大なる任務を委託して忍ら心配なしと爲す者の國中[illegible]は事實なり然れども他[illegible]屬するの人ありや官僚は[illegible]其の上なる者は老の躁言を並ぶるのみ實行力あることなく之れに追隨する者は徒らに官等の上下に苦慮し上官の命を奉じて書類を調製するのみ偶々有爲の士あるも駿足何時の間にか縮みて模型的官僚となり了せり志操卑陋國民の儀表たるの氣位なく官を辭して商賈の番頭となり月給の多きを誇りて洒々然たる比々として皆然り面に唾すべきのみ政黨に至りては更に云ふに足らず主義なく理想なく國事を憂ふるの至誠なく唯だ憂ふる所は選擧のみ國家の公を恐く世間の人氣を博するに供して憚らず米價高きも農民の思惑を恐れて之を調節することを得ず而貸多きも小資本家に媚びて之を收縮することは能はず選擧法を改正せんと云ふも眞に選擧權の擴張を國家の爲めに必要なりとするに非ず世間の人氣を害なはざると次期の選擧に我が黨に好都合なるとの二點を交互酌量して納稅資格三圓と定め五圓と定めんとす凡そ選擧權は國家の公器にして政黨の掛引の道具に非ず國民の迷惑と云ふべからざるなり資本家も亦[illegible]し極めて小なり僅に數百萬金を贏ち得て意揚り心驕り馬鹿げたる奢侈に耽りて徒らに自己の心身を害ひ貧民の反抗心を挑して醇良の俗を破るのみ其の資本を以て國家の隆興に貢獻するの志尙毫も存せざるなり下級人民も亦意氣地なし米價高くして生活困難なれど蜂起して他の救を受けて滿足す自ら米價問題を解決して國家の一員たるの責任を果すことを思はざるなり

（法學博士上杉愼吉氏記す東京）

財界の新著人（八）
西海生（34）

笠原寛美君
北鮮製鐵事業部長

世界大戰開始の年に來て戰爭の終つた年に朝鮮を去ることは笠原君の述懷である、成程大正三年の一月、三井物産の京城支店長代理となり、八年の二月北海道製鐵株式會社に轉ずるのだから、戰時中朝鮮生活を紹けた事になる。

▲君は長脇差を以て聞ゑた群馬縣前橋の人、明治八年に生れ三十五年東大法科の出身、殖産銀行の理事中村光吉君とは同期の友人である、學校を出てすぐ三井物産に入り、十有六年間香港門司新嘉坡京城の各支店に勤務し、今日に至つてゐるのであつて、その經歷より曰へば、既に夙に支店長たるべき人物なるに拘らず、又君の後輩にして支店長に進んだ人は少くないのであるが、不幸にして君は今日までその選に洩れ、著しく不遇なるやの觀があり、同情者もあるやうだ。

▲これは君が大學出身なる事、此にその性格が物産幹部の如き純商事關係の事業に少しくそぐわぬ點を有してゐるからであらう、物産は重役幹部殆んど高商出身を以て占め、高商出身者に非ざれば、著しくその昇進は不利である、又君は正直な人である、幾分か上州人の血性を有し、怒り易い性格を有つてゐる、何か氣に喰はぬ事があるとパッと云つて終うし、口にも顏にもすぐ不平不滿を現はすと云ふ、つまり謙抑な溫和的な性質を缺いでゐる、口と腹とを併行さす人である、物産の如き商事會社支店長として幾分の缺點は其邊にあらうと云つてゐる人がある。

▲北鮮製鐵は三井傍系の事業であつて、朝鮮价川鐵山の如きは同社の所有に屬してゐる、資本金一千五百萬圓拂込濟の大事業、最近までその事業部長は重役が兼掌してゐたと云ふから、君の今回の北海道行きは正に榮轉と稱してよからう、待て甘海路の日和と云ふ程でないまでも、君のためには少くも得意な新境地を拓いたと稱して可なり、唯今後の製鐵事業に戰時中の如き活氣を求むる事は困難なるべく、何れかと云へば當分落潮期であらう、但し事業その者は國家的の堅實な計畫、隨分働き榮のする仕事であらう。

▲君の朝鮮在勤中の功績としては朝鮮産のタングステンを世界に紹介した事を擧ぐべしである、これは必ずしも君の力のみとは云へまいが、君の特種鑛物に對する科學的智識と、三井物産と云ふ大舞臺に上つてゐたため、半島のタングステンを世界的のものとした、黑鉛や水鉛などに關する智識も極めて豊富らしく、專門の人でないに拘らず特種鑛物の權威者を以て目されてゐたのは、君の深い科學趣味と、止まざる研究心から來てゐるのであらう。

▲六尺ゆたかの大男、堂々たる體軀を有つてゐる、少しく主我に過ぎる性質を矯むればビジネスマンとして立派な人だらうと思ふ、地位の轉化と共にその邊に意を用ゐたらどうだらうと曰ふ人もあるやうだ、舞は本式に稽古したらしく京城紳士藝の指折りだつた。

製鐵事業奬勵 保護建議
日本工業俱樂部の調査

日本工業俱樂部にては豫てより本邦鐵鋼自給策に就き委員を設け調査を爲しつゝありたるが最近に至り成案を得たるを以て郷委員長は和田豐治、中島久萬吉兩委員と共に過日來總理大臣、大藏大臣、農商務大臣に會見し成案に依る製鐵事業奬勵保護に關する建議を爲し縷々陳述する所ありたる由なるが建議案の內容を摘錄せば左の如し（京）

戰前本邦內地産銑額は二十三四萬噸なりしもの目下我製銑能力は年百二十萬噸を唱へ民間放資額約五億圓に達したるも休戰以來鐵價暴落の爲め當業者は恐慌に襲はれつゝあるが若し此儘放任せんか將來再び製鐵業擡頭の機會無かる可きを以て此際國家は其産業策を徹底し當業者の不安を一掃せんこと希望に堪へず依つて先づ之が對策として（一）應急的對策と（二）根本的對策とに區分したり

（甲）應急的對策

第一、鐵鋼の輸入制限及管理　此種の手段は固より國家平時の政策として[illegible]に穩かならずと雖も戰後の爲め[illegible]期に遇し可及的最短期間の施行と最小限度の價格に依りて僅かに製鐵業の存續を圖り此間更に善後の大計を定むるの餘裕を得んが爲めにして其要目を擧ぐれば（イ）國內に於て生産し得る鐵鋼の品目を定め其輸入を制限する事國內に於ける生産高と需要高とを比較し生産高が需要高に及ばざること明白なるものに限り之れが補充の意味に於て輸入を許可すること（ロ）輸入を許可したるものゝ代價が別に定むる所の製鐵業調査會に於て査定したる標準價格に比して低廉なる場合に於ては該標準價格を以て引取らしめ其の差額を國庫の收入と爲すこと（ハ）輸入制限及管理期間を一箇年と定むること但し必要の場合に於ては之を延長することあるべし

第二、政府に於て適當なる調査機關（製鐵業調査會）を設置し製鐵業の保護奬勵並に將來の發展に關する諸般の施設を計畫すること

第三、政府事業に要する鐵鋼並に製品は政府に於て其用途の許す限り內國産のものを使用すること

第四、內地鐵鑛石の輸送に對しては國有鐵道に於て現行最低運賃率に對して更に特別の割引を爲す事

（乙）根本的對策

第一、內地官民製鐵事業統一　此により小資本の分立に伴ふ不利の事情を改善し資金調達の便を圖り且製産費を低廉にし製品の調節を可能ならしむべく始て克く外國との競爭に對抗する力の素を作すを得べし內地官民製鐵事業合同の方法等に關しては吾等に於ても亦多少の意見無きに非ずと雖此の如き事項は總て前きに記する所の調査機關をして審議立案せしむるを可とす

第二、鐵鑛石並に石炭の供給に關し永遠の計を定め殊に此目的を以て支那に對する恒久的方策を講ずると　吾邦が製鐵國として立たんには原料たる鐵鑛石及石炭に於て闕くる所有るは何人も之を認めざる能はざるべし左れば內地の鑛源調査を十分にするは勿論朝鮮滿洲樺太等の鑛源開發を圖り或は遠く西伯利に及ぼし殊に隣邦支那國より其鐵鑛石及石炭の供給を仰ぐの方圖に就ては官民俱に大に計る所なかる可からず吾等の期待する所は支那人との間に共同經營を計り日支兩國永く斯業に相提携するの實を擧げんと欲するに在り吾邦の製鐵事業に對する國計大策は此の如くにして初て其確立を告ぐるものと謂ふべし

第三、保護關稅政策を實行すること　製鐵業の保護奬勵に向て關稅政策を採るに就ては世上多少の言議無きを得ざるべし保護關稅政策は畢竟事の已む無きに出づるの手段に外ならずと雖米英獨の製鐵業今日の盛運を致したる所以のもの關稅保護の力其の多きに居り殊に米國の如き富源の無限にして而も尙且マッキンレー、デキングレー稅法の實施に依りて其製鐵事業に對する保護を新にし英國戰後商工政策調査委員會の建議に係る製鐵業保護案中にも亦外國の鐵鋼並に製品に對する輸入稅賦課の一項有り若し吾邦製鐵事業に於る製鐵製鋼及製品能力にして既に相當の發達を遂げ相當の保護に依りて其全能力を發揮せしめ之に由りて以て鐵鋼自給の目的を達し得べき算有らば關稅保護も亦決して不可無しと信ず殊に外國のダンピングに對しては加奈陀政府の爲す所に倣ひ非ダンピング法を制定するが如き防遏手段も亦必要なるべし

本紙定價　壹部參錢　壹箇月七十錢▲參箇月前金貳圓▲六箇月同四圓[illegible]▲壹箇年同八圓[illegible]郵券代用二割増
廣告料金　五號廿五字詰一行一圓五十錢▲三號七字詰同二圓▲三號[illegible]▲一號八字詰同[illegible]
發行兼編輯人　奧田直[illegible]
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯局[illegible]　營業局[illegible]　振替京城三〇〇番[illegible]

購買入札
一、米　五十三石
右購買ス詳細ハ大正八年二月十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

懸賞大募集（至急要）
▲發明考案に趣味有る人及既に權利を有する人も來れ（居乍ら一時に百千圓の利權收得）
◆誰にも規定の金給與
◆奬勵金補助
▼詳細返信料添へ申込め
東京本郷二丁目　日本發明協會

實驗用大割引　本機は事業として最も有利　二十種の製造機具進呈　自在也說明書[illegible]　二角製繩器[illegible]　向ランプ馬[illegible]　バリカン農具[illegible]　具定價表進呈
東京本所長崎町三日　日本發明奬勵會

自動車
本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送
東京自動車學校
東京市日本橋區　大阪市西區[illegible]　福岡市博多中島町六に分校あり講習所新設

桑養蠶飼料
原蠶種製造所長技師藤岡先生發見大日本蠶糸會發表草で蠶が飼へる　三百株で[illegible]　此草は何地にも良く成績かに桑以上に繁茂し[illegible]　用也說明書進呈[illegible]

最新刊
朝鮮總督府編纂　大正七年改版　朝鮮法令輯覽　定價拾貳圓送料四拾二錢
書名　著者　定價
大日本文明協會編　生活と兩性問題　一、六〇
文明と女性　一、六〇
碧瑠璃園著　堀部安兵衞　一、〇〇
大阪藥務署長　淺野兼助　鑛業法講話　定價一、八〇
永代靜雄作　外相の奇病　九〇
松浦一郎著　的の黒星　五〇
即席珍料理の拵へ方　二〇
福岡市博多下呉服町　福岡支店　電話一五四　振替福岡九五五〇

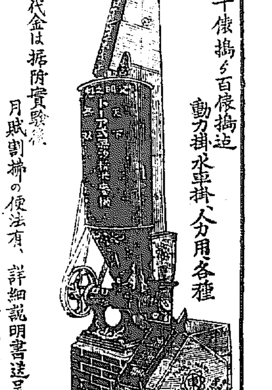
京城本町一丁目　大阪屋號　電話六二一八六番　振替京城二五七三番

七十一回新券
一通　十圓十錢（送料一口十錢）
いよいよ三月一日限
一千圓　二十本
百圓　五百本
東京市麹町區內山下町（日本勸業銀行構內）株式會社　勸業債券月報社　振替東京十八番

職業
原紙貸與熟練日收貳圓
位全國市郡特約店募集
三晃商會總本店
東京市本郷區本富士町一丁目八番地大通　電話下谷三五五四番　振替東京一四七七

謹告
不肖須川材木店在勤中は一方ならぬ御愛顧を蒙り難有奉感謝候今般合意同店を辭し清水材木店名義の下に開店仕候間倍舊御引立の程奉願上候也
眞野明雄

謹告
店員眞野明雄今般合議上弊店を退店し獨立開店可仕候間弊店同樣御引立之程偏に奉冀上候也
須川材木店


十俵搗ゟ百俵搗迄　動力掛水車掛人力用各種
代金は据附實驗後月賦割拂の便法有、詳細說明書送呈
製作發賣元　大阪西區市岡町　東亞物產社

＝大新ト鐘新＝
財界一部ノ不振ト和議ノ經過ヲ針小棒大ニ誣傳シ極度ノ恐慌相場ヲ演出ス而モ靜ニ現在ヲ達觀シテ何等恐慌ノ眞因ヲ發見シ能ハズ當然ノ反撥ヲ期待シテ仕ツベク質優秀ナル者モ不良株ノ相伴的低落ヲ機トシテ第十六回ヲ組織シ大新、鐘新ヲ買付ントス、諸中ノ勤妙味此間ニ存セン擧テ參加セラレン事ヲ勸ム
■申込期間二月廿四日迄　■加入金一口五拾圓（債券代用不苦）
日本信託證券部
第十六回　株式（大新鐘新）買同氣會
▲內容說明書及會則贈呈▼
大阪市北區堂島濱通一丁目　電話北長二一四番　北長九七二番　振大阪一九〇〇九六九

商標
たべておいしい　徳用　「改良麥」
田代商店改良麥製造部
田代商店米穀部
田代商店牛皮貿易部
釜山府榮町四　電話長二九四番　振替京城五六〇三番

村は豊饒
民は皷腹
寄附はたちどころに集まり
消防組は到る處に新設せらる
消防組新設の時期は今此時!!

京城　熊平支店　振替京城一二五番　電話長三六一番　一二四番

名ばかりの妻
金尾夏子女史譯補　定價壹圓廿錢　送料金八錢　新刊發賣
最早講談でもありますまい、左樣かと云うて純文學ものは肩が凝つて、夜長や日永の讀物には適當しませぬ。何が宜からうと種々研究した末、當時外國で好評を得てゐる婦人向きの通俗小說を譯して見ました。從つて藝術的價値を云爲されると困りますが、輕くて面白くて誰が讀でも毒にならないと云ふこと丈は保證致します。
東京芝公園（振替東京一四一七七）玄文社

輸出向、內地向
富士トンボ印
醫療用繃帶材料　製造販賣元
大阪市北區堂島北町十七番地　富田彌三郎
電話北[illegible]番・振替大阪四五五七三番

ニッポノホン
二月新譜賣出し
氣を張り詰めた一日の仕事の後には骨休めが必要です
簡便で然かも最効果のあるものお擇びなさい
諧晴しとしての效能は鷲印音譜に勝るものがありますか
定價金壹圓貳拾錢
三曲　磯千鳥　須原大検校　飯田きみ子　中尾都山
活惚　チヨイサ節
義太夫　忠臣藏四段目　竹本三味線
新派劇　不如歸
新派劇　土屋松濤
唄　不動　三絃杵屋六次郎　中村六三郎
安宅
特別の大提供
まちさいの唄　松井須磨子
わしが好きなは　合唱　宮部　木村　時子
今度生まれたら　松井須磨子
ゴンドラの唄　松井須磨子　伴奏　北村季晴　北村初子
ローレライの唄　松井須磨子
森の山猫さん、犬の散歩　松井須磨子
水鳥の花
わしが仲よし　田邊若男
▼どんな所が吹込まれたか▼讀んで面白い　二月月報（進呈す）
○西洋名家新レコード出來（カタログ進呈）
京城本町二丁目　日本蓄音器商會　電話二八三番

山田式　下向ランプ　壹個金貳圓　送料貳拾錢

光力　拾燭光以上電燈ノ如キ感アリ
經濟　油ノ消費量從來式ニ比シ五割減
安全　墜落轉覆スルモ火災ノ虞ナシ
特約　一郡一名限リ特約販賣店ヲ募集ス
注文　振替京城五二九九番ヘ前金御拂込ノ事

▲蠶具　養蠶　製種　製絲　鏡檢用各種
▲蠶種　交配白繭種　交配黃繭種　又昔　青熟　白龍
京城府龍山驛前　東亞蠶糸株式會社京城支店

Glyconal
佐伯博士の榮養劑
グリコナール
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル營養劑ニシテ五〇%ノ「グリコゲーン」及蛋白脂肪越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
適應症。一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ良ク其目的ヲ達スル事ヲ得。
百錠金壹圓＝說明書進呈ス＝各藥舖ニ有リ
東京室町　三共株式會社

◇國際聯盟規約可決

講和會議は十四日滿場一致國際聯盟規約を可決せり右規約中には將來に於ける戰爭を防止す可き最も強硬なる手段を包含せり（巴里電報）

◇國際警察案否決

國際警察隊を編成し其參謀本部を設くべしとの佛國の提議は十三日の聯盟委員會議にて否決されたり（桑港電報）

◇海運會議議決

聯合國海運會議は獨墺兩國商船七十五萬噸を專ら軍隊の歸還並に歐洲各地に食糧を供給する爲に使用する事を議決せり（倫敦電報）

◇休戰條約履行確保

對獨休戰期間は十八日滿了の筈なるが聯合國は休戰條約の履行を確實に確保する爲め延長期間を從來より短縮し若し獨逸が同期間內に休戰條約の履行を爲さゞればライン左岸一帶を占領す可き新條約を締結す可し（巴里電報）

◇日本損害見積提出

對敵賠償委員會に於て日本は被擊沈船舶其他不法行爲に依る損害の精細なる見積書を提出せり（巴里電報）

◇日支借款取消通電

廣東政府にては十三日の參衆兩院議員の結果巴里の支那講和委員宛て昨年國會解散以後の日支密約借款を取消す可き旨を決議せる事を通電せり（廣東電報）

◇日支離間陰謀 外人等支那人を欺瞞す

一部民間政治家と一部外人との陰謀になる講和會議に於ける諸計畫は千九百十五年の日支協約を破棄し青島山東に於ける獨逸の諸權利を講和會議に依り直接支那に回收する事且又日本と諸外國間に於て日本の支那に於ける特殊關係を規定せる條約例へば石井ランシング協定等を破棄する事歐洲戰爭中日支間に締結せられたる鐵道借款を廢し支那鐵道の國際管理を主張する事、軍事協定、軍事借款を廢し日支の軍事提携を妨害する事、國際聯盟に加入し將來の危險を防止する事等英米の同情に依り支那南北和會議に於ける民黨を後援する事等にて外人等は極力日支の離間を圖らんとし支那人は之に欺瞞せられ日本を敵視し排日行動に出づる意嚮あり日本は速かに對策を講ずるの必要ありと唱へらる（北京電報）

◇日支協約發表か

支那政府が支那講和委員長陸徵祥氏より接受せる電報に據れば日本講和委員牧野男は左記協約を講和會議に發表せん事を日本政府より命ぜられたりと（北京電報）

一、支那殊に山東省に關係ある日英、日佛、日露、日伊協約
二、日本の對支二十一箇條要求並に千九百十五年の日支條約
三、千九百十八年九月締結の山東鐵道協約
四、同時に成立せる滿洲、蒙古鐵道條約

◇獨義勇軍組織中

獨逸軍隊の復員は東部の十萬人を除き完全に行はれたるが獨逸にては三十萬人の老巧なる兵士より成る義勇軍組織中なり（東京特電）

◇米資金引入案否決

十三日の國際會議は外交委員會の提案にかゝる外債に依りて敷設されたる又は敷設さる可き全國鐵道を米國の加入する新銀行團の經營に移す件の可否に就き討議の結果終に之を否決せるが右は新に銀行團に加入すると共に支那政府に多額の資金を供與し列國共同經營の名の下に日本の支那に於ける優越權を破壞せんとの魂膽より周自齊氏をして外交調查委員會に提案せしめたるものなりとの說あり（北京電報）

◇軍艦派遣決定

李太王國葬儀に就き海軍を代表し舞鶴より [illegible]

◇四鄭線建設決定

四鄭鐵道支線鄭家屯より白音太來（通遼）に至る部分建設の件十五日閣議にて決定せり（北京電報）

◇汪曹意見衝突原因

外交委員會長汪大燮氏は會員たる曹汝霖氏との間に外交上の意見衝突を來し居れるが右は外交調査會にて交通總長たる曹汝霖氏の缺席せる際支那鐵道の國際管理に關する決議を爲し曹汝霖氏に對し日支間の鐵道秘密條約全部を一週間內に提供せよと命じたる爲め曹汝霖氏は所管總長たる自己を無視せるを憤れるが爲めなり（北京電報）

◇國葬事務協議

十七日午前十時より內閣にて山縣國葬掛長伊東同次長、大木宮內書記官、佐伯掌典等參集諸般國葬事務の協議を爲す可し（東京特電）

◇西伯利救療 二千五百名

陸軍省は昨年十二月中西伯利に於ける救療地方に於ける患者二千五百名治療延日數一萬六千日に達せる旨を發表せり（東京特電）

◇技師以下招待

津田釜山郵便局長は持地遞信局長官代理として新電話開設の爲め來釜せる池田技師外十三名を十五日夜釜山停車場ホテルに招待の宴を張れり（釜山特電）

◎製茶輸出趨勢 不發展の原因

本邦製茶輸出記錄時代即ち明治十六年來大正六年に至る五箇年間宛の平均製茶輸出高を檢するに價格に於てこそ約倍位に登りたれど數量の點に於ては左表の如き成績を辿りつゝあり（單位斤）

年次	數量
自十六年至二十年 五ヶ年平均	三一、九一二、一〇八
自廿一年至廿五年	三六、九八二、六四四
自廿六年至三十年	三四、三七七、五九二
自卅一年至卅五年	三三、六二一、三五五
自卅六年至四十年	三一、三三〇、七〇六
自四十一年至大正元年	三〇、四四五、四四〇
自同二年至同六年	二〇、三三六、九〇四

抑も斯の如き現象を示せるに就ては固より各種の原因相錯雜せる結果なるべしと雖も是れ畢竟するに本邦輸出茶の約八割餘を需要する米國及び一割強を需むる加奈陀等に於て印度錫蘭及び瓜哇茶並に珈琲の勁敵ある一方本邦に於ける諸物價並に勞銀生產費等の騰貴甚しき等の爲め生產者の▲利潤を低減せしめ他の收益事業に趨る事等に基因するもの、如し然れども如上の現象及び事由を以て之が前途を悲觀するは斷じて無用なり蓋し本邦緑茶の大需要國たる米國は亦世界第一位の珈琲消費國なるが其の珈琲輸入高と製茶輸入額の割合は年々兩者殆ど一定的の數字を示し此間珈琲の跛足的增加を來さず換言すれば珈琲等は緑茶需要領域を蠶食する能はざるなり尤も曾て同國輸入茶課稅の實施せられたる際は製茶の輸出は一時減退の事實ありたれども該課稅廢止後は漸次其の割合率を恢復するに至り又同國に於ける緑茶紅茶の關係を見るに印度錫蘭及び瓜哇茶業者が同國に對し每年數十萬圓の費用を投じて頻りに紅茶の▲販路擴張に努めつゝあるにも拘らず緑茶の輸入額は之れが爲めには何等の減退を示さず茲に於てか彼等は他の緑茶の壓倒政策を抛ち却つて本邦緑茶を模造し其の輸入に腐心せるが如き以て我緑茶勢力の如何に牢固優越なるかを窺知するに足る可し殊に又同國に於ける各國緑茶の勢力を檢すれば本邦緑茶は同國緑茶界の霸者にして其の供給は同國緑茶全輸入高の六割內外を占め且其の品質に他の模造し能はざるの特色を有するものとして一般に認識せられつゝあり故に今後ます〳〵內生產の改良外販路の擴張等に努め日本茶以外の茶消費者に對し本邦茶の▲嗜好を喚起せしむることに盡さば本邦緑茶の將來は更に一段の輸出額を增進するを得ん近年內地に於ける紅磚茶の製造事業は頻りに勃興し漸次露領、蒙古、滿洲地方に其販路を開拓しつゝあれども本邦對露貿易に關しては現在擾亂の尙ほ終熄せず又取引機關の未だ整備せざる等の關係上從來露國及び露領地に於る紅磚茶消費高年約七千萬圓は大部分支那より供給せられつゝあり若し本邦紅茶を以て其一部なりとも之を代用せしむるを得ば啻に紅茶貿易額の巨額を示すに止らず紅茶粉の潤澤を來し一方大いに磚茶業の異常なる發達を促す可く又對露貿易の從事は決して至難ならず寧ろ早晚斯かる趨勢を現出すべく▲支那こ對抗する紅茶に至らん加ふるに又紅茶の價格を相應に低廉ならしむるに至らば次第に米國の需要をも增進するを得可きなり斯くの如くに觀察し來れば本邦緑茶は勿論紅磚茶の改良收益增加の爲めにする副業的茶園并殖經營の獎勵等其宜しきを得るに於ては前途尙ほ發展の餘地綽々たるものありと謂ふ可し（東京）

◎咸北明太漁況

十二月中の明太漁況を聞くに咸鏡北道沿岸各地に於ける十二月に於ては三湖、前津、茂桂等を主漁地とし就業船二百九十二隻人員二千五百二十四人漁獲高七千二百五百十七隻人員三千三百七十六人にして漁獲高一萬六百五十八駄價額五十三萬九千二百二十七圓副產物一萬一千六百二十四圓副產物一萬一千五百七十二圓計十二萬四千百九十六圓咸川郡は波海津、新昌里を根據とし百十一隻二千二百餘人に達せり

人種差別撤廢問題（三）
自から省みよ
法學博士 副島義一氏談

五年間の大戰も漸く終結を告げた結果として永遠の平和が講究せられつゝあるのである是れも世界文明の一大進步と言はねばならない之に戰爭は殘虐なるものである是の殘虐なる行爲を▲未然に抑止せんとするのは實によい事である然し戰爭の起るといふのは單に兵を弄ぶ爲か或は侵略心を滿足させる爲といふのみには因るまい時に其處には正當なる理由がなくてはならぬ所謂不條理の壓迫又は存亡に關する危險に遭遇するに際しては正義擁護の爲めに必ず兵を要するのであるそこで戰爭は必ずしも理無く起るものではなくして正義の爲めに起る事も多い彼の日清及び日露の戰役の如きは我國の正義擁護の爲めに餘儀なく起つたものである事は喋々の限りではあるまい武を弄ぶ即ち▲侵略的の戰ひばかりでなく正義の戰ひをも抑止するのは或る方面から見れば是れも進步と見ゆるかも知れない然し進步と見ゆる以上は何人が見ても正義と見ゆる事のみが行はれてゐなければならないが正義を口にしてゐる國の領內に果して正義のみが行はれてゐるであらうか若し己の國內に何人が見ても正義と見ゆる事のみが行はれずにゐて是れを高唱するものであるとしたならば奇怪至極と言はねばならぬ或ひは此の奇怪事が全然無いとはいへないのである即ち▲人種的差別待遇は啻に此不正義を赤裸々に露出したものであらう私は歐洲の人々に問ひたい一事がある夫れは即ち白色人種は全世界の人々を何こ見て居るか？こいふのである今歐米諸國の人類を指彈してゐるものは耶蘇教徒であらう此耶蘇は何と言つてゐる『人は皆同胞だ』と言つてゐるではないか、我が日本の俗に『天地の裡に最も尊いものは人である』と言つてゐるのは實に尊いものであると言つてゐる茲に於て見ると歐洲の人に對する觀念も東洋の人に對する▲觀念も同一ではないか人の本質には決して區別は無いのである然るに皮膚の色を以て又は服裝に依つて差別するなどは實に以て甚だしき怪事ではないか即ち人種的差別待遇は獨り經濟上許りではなく所謂國民の品位又は國安の威力の侮蔑である即ち此の侮蔑こそ痛では國家の存亡に關する大問題である以上決して是れを默視する事は出來ない若し目下の國際聯盟が眞に誠意から出たものだとすれば先づ此の問題こなつてゐる▲人種的差別の撤廢を即決すべきではないか此人種的差別待遇といふ不正事が伏在してゐるまゝに國際聯盟を成立させた處でそれは甚だ其諒解に苦しまざるを得ない次第である今度此の國際聯盟を主唱してゐるものは實權を握るの立つ曉にも實權を握るであらう其實權を握るべき人の口にする所の義が果して我々の口にしつゝある正義と同一のものであらうか若しそれが異なるものとすれば果して安んじて國際聯盟に賛同することは出來まい若し▲彼等が正義を行ふべき國際聯盟の名の下に不正義を行つたならば奈何とするか兵力を以て侵略するのも國力財力を以て侵略するのも不條理の點に於て聊か異なる處はないではないか私等として此點に於て甚だ疑念を抱かずにはゐられない若し此疑念は無用である決して斯かる不正義は行はれないといふならば其證據として先づ人種的差別を撤廢して貰らいたいのである國際聯盟の條件として先づ人種的差別撤廢を請ふのである若し此撤廢が出來ないなら私は國際聯盟には▲決して贊同する事は出來ないと斷言するのである是れは決して私一人のみの叫びではないこ信ずる以上擧つて此叫びの聲太平洋の彼方にある國の人々の耳に徹したいと思ふ（人種的差別撤廢大會席上にて日比谷京支局）

◎東拓米の放賣と會社の增收 籾の暴騰

東洋拓殖會社京城支店に於ける大正七年の小作料籾の收納は約三十四萬石に上り殆ど未曾有の好成績を示したるが其の處分は一般米價の暴騰時代に際し極めて有利に行ひつゝあるため會社の大正七年度決算（來る三月末締切）は頗る好調の裡に之を終るを得べし聞く所によれば同社の籾は既に約半數乃ち十七萬石を放賣したりとの事なるがその最低は▲一石十五圓を下らず籾の最高は十八圓の高値唱へに付假りに之を十六圓五十錢の平均とすれば歷年の籾放賣價格に比すれば實に二倍乃至四倍の高價にあるを知り得べし今同社の籾處分平均價格を歷年別に擧ぐれば左の如し（東拓十年史による）

歷年	籾一石の平均價格
四十二年度	四、二〇〇
四十三年	五、六〇〇
四十四年	六、七七四
大正元年	六、六一六
大正二年	六、六三九
大正三年	五、二五〇
大正四年	四、二九一
大正五年	五、四〇六
大正六年	八、〇二二

乃ち大正六年度の八圓臺を除けば四圓乃至六圓臺にして從つて籾より生ずる收入は百二三十萬圓より二百四五十萬圓を出でざりしに大正七年は六年持越米の處分既に十二圓を下り居らずと信ぜらるゝに付昨秋の收穫米は十六圓五十錢平均にして既に▲十七萬石を放賣せしものとすれば十七萬石のみにて二百八十萬圓を超過し各年の籾代金の總額を遙に超ゆ居れるを知り得べく尙ほ七年度に屬する二三兩月間に幾何の處分をなすかは未知の問題なれども籾の處分により東拓の增收は著しきものあり更に大豆雜穀の豐收高値に付會社の收益は著しく增大すべき模樣なり

◎寶巖鐵山採鑛

麻生鐵業會社の經營に係る咸南北青郡寶巖鐵山の鐵鑛石採掘は同社の手にて昨冬來引續き居れるが同山と船付場とを連絡する輕便鐵道の設備は解氷後に非ざれば完了せず、旁鑛石の內地供給は輕鐵の設備を終りし後となるべくそれまで採掘の鑛石は蓄積し置く方針なり

◎電燈値上案留保 木本事務官に請願

京城電氣會社より昨年末當局に申請したる京城電燈料金一割の値上案は詮議相成らざる旨當局の意見一定し居り却下の指令を交附する事となり居れる由なれども木本事務官は何故か該却下指令の交附延期を訴願し居る模樣に付從つて尙ほ當局の手許に該申請書は保留されありと

◎釜山正米延取引の停止 當然の處分

釜山米穀市場に於る延取引を停止したる事は既報の如きが右に付釜山の買煽り筋は兎角の蜚語を傳へ居る模樣なれども元來釜山こ目ずその米穀市場に於て延取引を行ふ事は認められ居らず唯大なる弊害なきを以て從來當局にても默認し居たるもの、如きが最近釜山並に群山の正米市場にては買方の勢威強く飽まで先高を見越して買ひ進むものあり從つて期近物の煎上げを生じ米價は不自然に騰貴するを以て釜山市場は不穩を來し、その先物取引を停止したるものにてために人氣的に米價は若干の下押しを見たるもの、如しこ尙群山市場にては啻の喰合せ多く更に全北當局の內意もあり目下延取引は停止中なり

◎新會社續出

最近新會社の許可續出しつゝあり十五日官報發表のみにても三社並に資本金增額一社あり乃ち左の如し

▲京城 富士製菓會社、資本金二十五萬圓、目的菓子製造並に販賣、申請者一の瀨價外九名
▲新義州 淺見製材合資會社、資本金三十萬圓、木材の販賣その他、申請者淺見淺吉外六名
▲忠州 忠北物產株式會社、資本金十萬圓、重要生產物の賣買其の他 申請者鄭雲復外八名
▲釜山 田中商株式會社、一二十萬圓の資本金を百萬圓の增資、目的各種纖維工業製造賣買其他

尙ほ最近の新設會社は個人經營のものを法人組織となさんとする者漸く多き傾向ありと

◎大阪財界便り
財界救濟要望

鐵及び船の關係は財界の前途に橫たはれる二大暗礁なるが是れ而已ならず貿易は沈衰し工業は振はず商品市場は擧げて不勢を呈し若し此儘にて放任せんか財界は收拾すべからざる事態を惹起すべく救濟の必要は財界一般の翹望して已まない處である、屢報道せるが如く社外船造船所、鋼鐵業、織物商、染料商を始め各方面に救濟運動が盛んに行はれ居れるが各運動者若くは被救濟者の利害相異なると手持品の評價に關し常に異論百出し何れも具體的進捗をみず▲計畫は行惱みの姿である然るに（一）銀行は依然警戒の態度を執り（二）英米兩國は各種商品の輸入禁止を頻々發せんとし（三）隨つて海外市場は英米其他の投賣りを期待し依然として買進まず（四）在米佛國の航海權の復活は意外に早く實施されつゝあると（五）世界的に通貨の調査行はるゝあり（六）て加へて船價は戰前相場に接近せんとし（七）之を貿易表に見るも出超漸減の傾向顯著となり（八）保合止貨徐々減少しつゝあり彼此を綜合するに內外共悲觀材料多く若し夫れ米國の東洋市場に發展し來るの英國亦印度を中心として▲極東市場復活に全力を注がんとしつゝあるに至つては前途益々暗澹と謂ふの外なく（困憊せる事業界は是等の壓迫に堪へず遂に起つ能はざるに至るべし即ち政府の保護と銀行の援助とによりて救濟の餘地あるものは之を救ひ銀行監督の許に營業を繼續し講和後旺盛を加ふべき對外商戰に乘す可しとの議論漸く各方面に勢力を占めつゝある、蓋し財界過渡期に於ては此種の救濟も必要と謂ふべく政府に於ても近く何等かの方策を講ずべく一般に觀測されて居る

▲化學工業窒息

最近の調査によれば講和の爲め最も痛烈なる打擊を受けたる工業は化學工業にして何れも窒息の狀態にある、即ち戰爭以來當地に新設されしもの工場數七百、投資額二千百三十三萬五千四百八圓にして內硝子二百七十六工場、玉器五十七工場、製油製蠟三十一工場、製藥九十二工場、染料七十一工場等は最も著しく新設されたるものである又戰爭開始後規模を擴張せるものは三百五十一工場、增資額三千二百二十一萬一千圓に達し▲內增資額の著しきものは製紙の一千三百五十七萬九十圓、製藥の八百六十七萬圓、七器の六百七十一萬二千圓等が主なるものであるが休戰成立と共に硝子、製油、蠟、藥品、染料、セメント、紙等の海外からの註文は杜絶し且つ內地の市價は激落に激落を重ねつゝあるを以て高價の材料を手當せる是等工場は何れも多大の損失を招きつゝあり（大阪）

◇長春鮮人會成立

長春に於て設立計畫中の長春鮮人會組織成る十五日午後一時より取引所信託會社樓上にて開會出席者四十餘名あり會長の選擧、會計報告、役員選擧其他の諸件を協議し同五時散會せしが領事館より新山領事官補德永書記より橋本署長臨席し署長は祝辭及び希望を述べたり（長春特電）

◎專用輕鐵認可

平南大同郡秋乙美面寺洞より同郡大同江面東大院里を經て栗里及び新里に至る五哩二十九鎖の專用輕鐵敷設の件は平壌鐵業所長より總督府に申請中なりしが十日敷設を認可されたりと

人事消息

▲中村竹吉氏（鎮海理事）最近旭町より中與洞元井上東拓理事の舍宅へ轉居
▲竹內德三郎（久原鑛業會社々員）十六日夜入城天日樓へ
▲吉松盛郎氏（咸北第一部長）同巴城へ
▲岩本三志氏（大邱辯護士）同不知火へ
▲林有道氏（大邱記者）同上
▲大久保到氏（全北第一部長）同稲尾へ
▲隈田發氏（咸南第一部長）同山本へ

烏瞰錄

馬鹿に暖かい日曜日に反古帳を取り出して整理して居たら斯う云ふ面白いものが出て來たからちよつくら紹介に及ぶ▲時は明治十三三年頃で激烈熱が高潮に達して居た時烏本仲道が內閣組織問題から其の顧觸れを作つた事がある▲內相が井上馨、外相が伊藤博文、法相が陸奧宗光、藏相が澁澤榮一、陸相が林有造、海相が津田出、工相が大隈重信、文相が福澤諭吉と云ふ順序▲井上侯は其の時是非內相になりたいと云つたが烏本が井上が大倉との間に何か面白くない問題があつたと云ふので承知しなかつた▲處が此の內閣組織も頗る振つた一の聲のみで到頭おじやんになつた▲大隈侯の工相なぞは頗る振つたものだ今になつて見ると何だか古い油繪でも見る樣に妙に面白味がないでもない▲近頃東京では一大流行で殊に妙齡の女や地位ある婦人や現役陸軍士官迄の犯罪者を出して居る▲其原因は店飾りや陳列品が餘り挑發的に出來て居て人目を引くから遂に慾心を起す結果だと云ふ▲店飾りや陳列品の良劣や無細工は市街美にも關係するがさりとて餘り挑發的でも却つて害がある呉服屋などは注意する方が好い▲と云つて京城を始め內地の各都市では最う少し店飾りや陳列品に注意して貰ひたい店に由つては不愉快に感ずる樣な處もある▲米のなる木も知らず世の中にはこ云ふものゝあるのも知らず澤庵漬は小判形の物だと華族女學校の教授連を驚かせた某華族の令孃今では侯爵夫人▲東京の交際社會の花と唱はれて居るが同家へ出入の者が夫人のお穿き古しの足袋若干足を頂戴した▲絹足袋だから平生穿きにもならず其儘しまつておいた處を知人が見付けて五十圓で買れと云ふ▲驚いて調べて見れば糯は一々定紋付きの純金であつた▲それは大したものだと早速馳參じて返上に及ぶと『お前にやつたものだから』と云つて其儘突返された▲贅澤も此處迄行けば大いに徹底して居る

◎旅客列車緩和

執れも其列車に乘るに至り來成れるが奉天に於て安奉線並に京奉線に乘り代ふるものにありては從來 [illegible] ご乘客少き狀況なりと又 [illegible] 旅客列車の [illegible] 發は次第に時間も緩正せられつゝありと

◎佛國大使旅程

[illegible] と共に十八日京城發奉天經由北京に至る由なるが尙ほ東京より北京に遊ばんとする外人客は頗る多

[illegible] 高は一萬三千二百五十三石なるが搬出高は九千五百三十石にして二百石は地場消費米なりしで

專ら學理に準據せる 信用の出來る家庭藥
效能本位から貴重藥を主劑とせる 泰昌製藥會社の諸製劑

日本に始めて賣藥條例が施行された時分には、無害であつたら假令効果が無くとも、直ぐに其筋の免許が得られる樣な、頗るお手輕なものであつた丈け、隨分と如何はしい賣藥が澤山に市場に現はれて居た。所が最近に其の賣藥條例が改正されて以來、嚴かに製藥者の資格が限定された上に、假令多少の劇藥や、毒藥を混入しても

◆其の効能さへあれば許可する、即ち賣藥の根本的價値──奏効性に重きを置く樣になつた、これ眠れる賣藥界に對する一大警鐘で、これ以來我國の賣藥業者は、急に活氣づき徹底的に進步發達せんとする喜ぶべき傾向を生じたのである。此の眠醒めんとする製藥界に、馬を陣頭に進めて毅然蹶起したのが、例の三共株式會社の姉妹會社とも云ふべき、東京室町三丁目の泰昌製藥株式會社で、

◆一般的衛生思想の發達と並行して、賣藥改善の急先鋒たるの旗幟を翻した。我々の家庭は最早や明治二十年前後のそれと違ひ、非常に進步して來て居る。殊にその衞生思想は急激に發達して、病氣に對する養生法、賣藥の選擇等は、過去のそれと殆ど比べものにならない程度にまで進んで居る。從つて吾々の家庭が要求する賣藥の如きも、決して安價なものをのみ選ばず信用ある藥劑士の手で作られた

◆効能の確實なものが歡迎される。泰昌製藥は其の名の示す如く、主として支那相手の製藥業者として生れたものではあるが、そしてその製劑が非常な勢ひで、支那、南洋等に輸出されて大々的信用を博しては居るが、日本內地の家庭でも同じ樣に非常な恩惠を受けて居る。殊に同社は前にも述べた如く、本邦製藥界の王とも云ふべき三共株式會社と姉妹關係の會社である丈けに、同社の製劑は何れも

◆三共の新藥を用ゐて居る。此點なども他の斯業者の隨從を許さぬ所である。同社で今盛に賣出して居る目藥「アドラ」の如きも、他の硫亞を主藥とした眼藥と異なり、高峯博士の發見になる、高價なアドリナリンを主藥としたものでアドリナリンが眼病の藥として世界に知らるゝ丈け其の効能も亦疑ふ事は出來まい。更に「ゴルフ」の如きも、美味の

◆健胃消化劑として、殆ど熱狂的歡迎を受けて居るに見ても、又最新化學的藥品を配合した、腦神經衰弱頭痛特効劑「エクレス」にしても、苟くも一度使用した人は、其の著しい効果に感嘆せぬ者は無いと云ふ有樣である。尙ほ此の外に新發賣の治淋藥「ペニロン」催淫劑「アフロン」等其他數十種類の製劑があるが、何れも非常に評判が好い。尙ほ益々新しい製劑を研究し、吾々の家庭に提供しやうと云ふ意氣込みの見える事が、殊に吾々には頼母しく思はれてならぬ。因に以上の諸劑は至る所の各藥店で販賣して居るそうだ。

梅一りん一りん宛の暖かさ

皆さん!!!
春の洋裝のお仕度は?
清洒な合服!!! 着心地のいい!!!
流行の魁!!! スタイルの美!!!
地質の堅牢! 價格の廉!
其れは是非共當部へ御用命下さい
見本の數々御申越次第送呈致します

撚紺セル、セル各種
春服三揃 四十圓ヨリ六十圓迄色々
詰衿上下 三十貳圓ヨリ五十圓迄色々
オバーコート 四十七圓ヨリ六十圓迄色々
トンビ 卅五圓ヨリ五十五圓迄色々
其外奏任判任制服御婦人コート色々

皆さん御注文は品薄とならない內にお早くねがひます
京城大平通 京城日報代理部（電話六〇九番 振替京城三〇〇番）

…決定せる前列に一二艦を特派して弔砲發射及び葬儀に參列せしめん(東京特電)

…漁業船七十七隻人員…五人にて漁獲高二千百二十二貫、價四十七萬一千二百二十圓、北青郡…額六萬二千四十圓副產物八千六百六十三圓計七萬九百三圓、洪原郡…文昌里長湖里浦衙里を主漁地とし…は新浦六臺馬養島陽化場、檢湖、新昌、乾自浦を主漁地とし就業船…十四隻價額五十四圓副產物五百…就業船百五十四隻人員一千六十五入漁獲高二千二百四十七貫價額十…五十九圓計五千五百九十九圓なりしが他道よりの出漁船は新浦六臺…

…新時間の列車を利用するもの…加し殊に大連より奉天乃至長春哈…補質方面に向ふものは午後十時半の終列車に據る方頗る便利なれば…の調和行はれ運輸上頗る進捗を見んとしつゝあり但し長春午前六時發の上り列車は京釜の今日殆ん…

…巡視中なりしが十五日奉天發京城に至り內地より十七日來り合すべき大使夫人並に萬國通信記者の…

…に於ける去る二月十一日現在の在米數を聞くに七萬八千二百十石にして二月一日より十日迄の廻漕…

◎ほの暗き隧道闇を通りて 梓宮徐かに墓上閣へ

莊嚴を極めたる埋柩の儀

洪陵遷奉儀は終はなる十六日は金谷御墓所に於ても莊嚴なる埋柩の儀行はれたり、前夜來儀式の準備整ひたる

◆寢殿前 には午前八時半と云ふに李王殿下御名代李戩鎔侯、王世子殿下御名代李海昇侯、李堈公殿下御名代李埼鎔子、李完用伯其他の朝鮮貴族、李王職よりは閔長官、國分次官、武藤祭祀、權藤贊儀、近藤會計の各課長、係員一同參列し上朝奠、朝上食、遣奠禮の儀あり午後一時より遷奠の儀行はる、即ち前夜梓宮に納められたる

◆寢殿の 扉は左右に開かれ黄色に萌ゆる絹の帷重く垂たる殿內よりイーヨーと哀しく〳〵頭ひを帶びたる掛聲と共に大輿は徐々と扉の外に搬び出され一段高く設けられたる廊道の上を辿りつゝ寢殿前なる遮日の下に停めらる、遷奠の儀終れば愈 埋柩下玄宮の儀に遷る、即ち梓宮は大輿より小輿に移され小輿は寢殿を半周して寢殿 背後なる

◆封墳に 搬び上げらる、封墳には小輿の通路を挾みて黄色の絹帷麥の如く燭光を包み眩げに白日の光を反射しつゝ封墳の斜面を彩る、小輿は紗籠の間を眞直に封墳に登り詰め一旦遮日の下に下さる、梓宮は茲にて小輿の中より取り出されて墓上閣の緒きなる隧道闇に入り白布を以て

◆內壁を 張り詰められた薄暗き隧道の中なる廊道即ち白座板を踏みつゝ閉蓋に蔽はれたる墓上閣の中に吸はるゝが如くに搬び込まる、續いて故人の遺愛品を收めたる九臺の彩輿順々に隧道閣より墓上閣內へと搬ばる、斯くて午後二時ともなれば墓上閣の裡よりイーヨーと哀れなる聲響き墓上閣の外壁には數人の方相氏怪異な面を

◆頭上に 戴き青、赤の服を纏ひ各々槍、槌、楯等を打振りつゝ互にその外壁を驅け廻りつゝ惡鬼を拂ふの形を爲す、閣內には埋柩の儀行はれつゝあるなり、埋柩の儀は約三十分にして終りたるが同四時頃には安陵奠の儀行はれ之を以て遷奉儀總ては終り夕景に至り掛員參列者一同夫々退散したり

閔妃移葬儀最終日
(上)御墓所に於ける小輿
(下)方相氏

◎山公容體益良し

政務總監の見舞を甚く悅ぶ

小田原古稀庵に詰め切れる合田二等軍醫正は語りて曰く十五日老公の熱は平熱より一度高く脈搏も不整なれど大體に於て最早憂慮す可き容態にあらずされど唯だ長引くは危險なるを以て疲勞せしめざる苦心を爲し居れり公は山縣政務總監の見舞を甚く悅ばれ約十分間對談されたり公の枕頭には室咲き山白牡丹と芍藥を飾りて眼を慰めれり(東京特電)

◎御墓所の工事 完成近し

金谷のこの頃

李太王殿下の御葬儀を二週日の後に控へた金谷の御墓所では過日來殆んど晝夜兼行の姿で修理工事を急いで居るが愈八九分通りの工事を終へ十五日には故閔妃の梓宮を迎へ十六日の埋柩式も滯りなく濟んだので之から唯

▽小部分 の修理だけが殘つてゐるばかりとなつた。先づ約三十町計りの陵道も完成し陵の正門右側には自動車置場、輿士軍控所、竹織馬置場等の大規模な幄舍があり左側には受付や救護班等の幄舍が設けられて居る陵內には輿を容れる

▽幄舍が 新しく出來其他は寢殿、齋室、炊事室、番人室等の從來の建物が全然修理を施されて丹青の色鮮かに輝いて居る。殊に寢殿內の壁には滿々しき三八綿を以て張り詰め扉々には黄色く萌ゆ立つやうな絹の帷が垂てあるなど見るからに神々しい兎に角今の處殆ど八九分通りは工事も進んで居るが未だ〳〵槌や鑿の音が忙しく響いて居る。

◎寺內伯病む

寺內正毅伯は十三日感冒に罹り熱三十八度七分脈搏百十に達し小田原より平井赤十字病院長急行し診察せるが十四日に至り熱下降し以後容體佳良なり(東京特電)

◎教育資金に 五十萬圓

望月氏の美擧

東京株式現物團の望月軍四郎氏は支那留學生の教育資金に充つる爲め金五十萬圓を政府に提供せり澤柳博士は右資金を以て支那留學生の爲め完全なる豫備教育機關を創設し學生俱樂部及び理想的の支那留學生寄宿舍を建設す可しと語れり(東京特電)

◎誘拐された女

三人還さる

既報久留米市つちや足袋女工野島ひさゑ(一七)中園よしの(一九)中村いつよ(一八)の三名は同市山口醫師の甘言に乘せられ同醫師の姉なる黄海道海州料理屋兼旅館筑紫旅館に酌婦として危く誘拐されんとして釜山に上陸せる處を親達の保護願により釜山署に取押へ取調の結果前記の始末と知れ十六日發の連絡船にて久留米に送還されたり(釜山)

◎兵士の賄料

約五割を增額

十二日陸軍省達を以て大正七年陸軍給與令細則の賄料定額中を左の如く改正し二月一日以降適用する旨公示された

賄料區分	舊日額	改正日額
第一區	二錢一厘	三錢一厘
第二區	二錢五厘	三錢五厘
第三區	二錢四厘	三錢四厘
第四區	二錢三厘	三錢二厘
第五區	二錢三厘	三錢
澎湖島部隊	一錢三厘	二錢七厘
滿鮮部隊	一錢五厘	三錢

右に就陸軍當局は語つて曰く『賄料と云ふのは陸軍の米麥を除く爾餘の食費で兵士の日々の副食物の費用のことである、區に依つて多少の相違はあるが今回概して五割の增額をした理由は勿論各地方の物價の騰貴せることで、一般物價は平均騰貴率は九割であるが賄料丈では五割の增額で戰前と全く同程度のものを給與することが出來る從つて一昨年來幾分無理してあつたのに比すればずつとよくなる譯である戰前は兵士一人當りの食料費は一日平均九錢一厘であつたが今日では何うしても十四錢三厘なくては間に合はぬやうになつた』

◎關釜間の 海底線

天氣さへ好くば 一日間で沈設

關釜間海底線布設の爲め十五日未明釜山に入港したる遞信船小笠原丸を訪問すれば西田技手は熱心に語つて曰く今回は主として關釜間三回線布設の爲來たのであるが是より先關門間海底線の中長府沖外浦より門司明神岬まで二哩半四回線の布設を終了し九日より更に

◇關釜間の 布設に着手したのである先づ山口縣吉見にて陸上線を取付けた上海底の作業に從事したが何分關門間及び吉見沖は風浪高く豫定の作業を遂ぐる事能はず漸くにて蓋井島附近迄淺見線中間線の布設を終つたので其儘に浮流を投じ同所に於て作業を中止した同所迄は六海里許りある此度は

◇逆に釜山 より布設する考へで愈十六日未明港內を隔れ岩南半島松島の陸上所より著手する筈であるが若し幸にして海上平穩の場合には僅々二晝夜の中に關釜間百十六海里の布設を完了する豫定である之に要するケーブル代金實に七十萬圓卻々馬鹿にならぬものであるが遞信省では是で滿足せず

◇來年度に 於て更に二回線增設の計畫を有つて居る相であると云々因に同小笠原丸は日露戰爭後の造船にして噸數千五百船員の外技術員工夫等百餘名乘組み居れり(釜山)

◎罠で狼二頭

咸北清津警察署島田巡査部長及び小森圓喜は同市內東海岸山上の屠殺場附近に於て重量四十五斤の狼二頭を罠にて捕獲せり尙ほ同山中には虎の足跡を認むる由にて近く同山に猛獸狩を行ふべしと

◎京城神社 祈年祭

本日嚴肅に執行

十七日は年內に風雨の災害なく五穀の豐熟を神祇に祈願する祈年祭の當日にて朝廷にては特に伊勢神宮に勅使御差遣の御儀あり官國幣社をはじめ全國一般の神社は大祭式により祭典を執行し夫々幣帛供進使の參向ありて祖國以來かの新嘗祭と共に廢絕することなく祭祀上其の

△意義深き 大祭日なるが京城神社に於ても午前十時三十分より大祭式により祭典を執行する由にて當日早朝係員は神殿其他の裝飾を奉仕し定刻齋主以下齋員伶人をはじめ氏子總代府尹道長官等祓所に參集修祓の後一同所定の座につき齋主昇殿莊重なる神饌を奉奠し御扉を開き各齋員十相の神饌を奏樂の裡に獻供し終れば齋主は謹て

△府より供進 の幣帛を神前案上に奠し祈年祭祝詞を奏上し玉串を獻じ參列の各員一同も玉串を捧げ再び奏樂裡に饌を撤し齋主御扉を閉ぢ奉りて祭式を畢る由を一般人士は其祭儀の由來する處を知り我人共に參拜祈願す可なりと

◎七發目に 仕留める

全南の虎狩

全北南原邑內居住野林虎一、別府喜一郎の兩名が大虎一頭を仕止めたることは既報の如くなるが其後聞くところによれば兩名は谷城面に大虎出沒する事を聞き込み符に同方面に赴き山又山を驅け廻り居たる折しも八日午前十時頃谷城郡竹谷面陽里の深山に於て丈餘の牡虎に出合たればスワこそ好敵御座んなれと先づ一發を見舞ひたり件の大虎は事ともせず猛り狂ひて抵抗するにぞ兩名も一生懸命なりが稍ともすれば虎は肉薄し一摑みの勢を示すより兩名は用心深く身を構へ二發三發と狙擊したるを以て虎は忽ち裡に數箇所の手傷を負ひコハかなはじと彼方の山に逃げ去らんとするより逃がしはせじと追擊しつゝ七發目を放したるに流石の大虎も遂に抵抗力を失ひ打倒れたれば留めの一發を放して附近の鮮人を雇ひ八人掛にて漸やく持ち歸りたるものなりと件の虎は長さ一丈二尺餘重量八十貫餘にして千四百圓にて賣買の約出來たる由

米國發明通信

廣告欄を計る 計算車

最近アルフレッド、チイウオシエバーンと云ふ人が、特許權を得た發明品がある、それは新聞紙や雜誌の廣告業に、非常に實際的價値のある時間節約器と稱すべきものであつた。即ち其の發明されたと云ふのは一吋活字線でも七號活字線でもその他端數線でも、新聞紙や雜誌の中の廣告欄を計算する機械である

◇從來は 計算するのに一方に一吋活字線と其の端數線を集め、又他方には七號活字線を集めて、定規で計つて居たので、此の七號活字式は廣告欄を計るに模範なりとして採用されて居たが此の古い方法では、誤りか屢々繰返され其の計算及び加算に非常な時間を要したそこで我皮が試驗の結果經驗に富んだチオシエバーン將校師が、最も少ない時間で最も正確に計算が出來、それ許りで無く、自働的に一吋線又は七號活字線の端數を合計して行く機械を作た

◇測量師 や圖案家の用ひる車輪を滑さする樣な、同じ方法なこの機械にもこの發明者は用ひて居るが、彼は多くの實一的有用な改良とか、時間の節約をして成る丈け少ない勞力で正確な計算が出來る樣にとか、其他事務の特殊な必要と要求に應する工夫を、形式は頗る似たが凝して居る。彼の發明品で計る時は一個の車輪で出來る、その車輪は計らうとする紙の上を回轉させられ、回轉して行く

◇模樣は 持ち好い樣に成つて居る、一把でフォークの二つの手と手の間を押すのである。而してただ一つの方のみに行く丈だ、一つの齒車で其車輪は計算器と聯結して居る、その計算器は車輪が完全に一回轉する毎に、その回轉を記する仕組である(一新科學社ポピユラ、サイエンスから)

◎春めいた此頃

是からは暖くなる一方

此一兩日は非常に暖かい瑠璃色の空、朗かな日の影、此處彼處に殘つて居た斑雪も次第に解けて如何にも春らしく何處かで鶯でも囀き相な陽氣である、京城測候所について訊くと十五日正午の氣溫は華氏の四十一度四、十六日も略は同じ位である、一日中の最低氣溫でさへ此二三日は絕わず華氏十五六度の間を往來し、一頃にくらべると非常な相違である、尤も此後は又寒くなるであらうが然し此儘春に入つて了ふ譯ではない、何んと云つても既に立春を過ぎた事でもあり、例年の記錄を辿つて見ても最う然麼に嚴しい寒氣の襲來はなからうと思つて居る斯うして愈氣候が固まつて了へば夫からは愈麗かな春日和を現出するのである云々

◎躍り上つた 魚の値

入荷が尠い

京城の魚價は目下舊正月で一般漁夫の休業と時化續きにて入荷著しく減少を示せる爲め漸次騰上げられて鮑十貫目六十圓海鼠同四十圓鯛百圓乃至百二三十圓鰆同五六十圓大口比良目同五六十圓チヌ鯛同卅五圓鰤同廿五圓乃至卅圓アナゴ同廿圓乃至廿五圓鰯同十五六圓甲烏賊(內地物)同七十圓鮹同卅圓鯖十八九圓で

◆昨年末と 殆ど同値であるが此値段は向後再びトロール船の全盛を見ない以上大した下落を見る事はあるまい其上近頃は日本(朝鮮海を含む)の魚類が世界的食料品として一般に認められて來たと同時に各國へドン〳〵輸出さるゝ樣になつて居る鯖の如きは鹽鯖として米國に向けドン〳〵積出されて居る其の他の魚類も大抵のものは罐詰として輸出されるので尚更だに

◆拂底を告 げて居る魚類が愈々不足して魚價は段々昂騰する一方である而し朝鮮は時期によつては比較的潤澤な魚類もあるので幾分かの埋め合せもつく譯であると京城魚市場守永支配人は語つて居た

省三 ニ告グ今直グ居所知ラセ時日ヲ過ギナバ重大ナル問題トナル 勝太郎

◎中村氏招宴 綿布商中村忠三郎氏は從來京城に於て營業中の處今回朝鮮大阪に於て開業する事となり十五日午後六時本町に於て取引先知己數十名を招き宴を張る

淋病患者の福音

新藥エルモールの發見 富士製藥會社の名譽

淋病の症狀

若い青年の出來心から、又は世間の交際上、一寸花柳界に遊んだ四五日目から、何だか妙にムヅ痒い樣な心地がして又時々蟻が這ふ樣な痛さを感じ、次第に黄色な膿が出て來る、度々小便を催すが其のした跡が難でもまれる程痛い。これが急性淋病の症狀である。それを外聞が惡いと治療せずに捨て置くと何時しか痛みが薄ぎ膿も少くなり素人目には殆ご全快した樣な心地になる、が酒を吞むとか時候の變り目などには又元の急性淋病の樣に再發して來て非常に苦しむ。これを慢性淋病と云ふ、淋病が尙進めば睾丸炎となるが其の苦しさ痛さは又筆紙の盡し能はざる所。幸にそれが入院して全快しても妻をなして懷姙せしむる事が出來なくなる。其他淋病は種々の恐るべき餘病を併發する事も多く、殊に妻に傳染して消渴こしけとなり、たとへ全快しても懷姙不能の病に陥り、子を泣かしむるに至るのであるから、賑やかな家庭に一生一此病氣に掛つた人々は一日も早く全治せしめねばならぬ。

療法の比較

現今淋病の療法に三種ある。其の一は洗滌療法でよく專門病院で行はれるが、不熟練な醫師が行ると彼の恐るべき淋菌をだん〳〵奧の方に追ひ込む危險がある、況んや素人が洗滌するのは絕對に避けねばならぬ。其の二は注射療法で學理としては最新のものであるが未だ研究中のもので効果は尙研究すべきてない。其三は服藥療法で昔から行はれてゐる方法である、前記の如き危險がなく最も安全である、只淋病の藥は多く惡臭を發して飲み惡い許りでなく、其効果も遲緩であつて、一ケ月も二ケ月も服藥せねば全治せしむる事が出來なかつたのは甚だ遺憾であつた。

新藥の發見

そこで富士製藥會社の研究室にては醫學博士藥學士以下一同が熱心研究の結果、淋病の新藥エルモールと云ふを發見した。動物試驗の結果も僅々卅分時にして速効あり、殺菌力強く惡作用なく理想的の治淋藥として最近醫學界にも確認され專門醫師にもドン〳〵賞用されて來た。これ會社の大なる名譽である。然しこれは賣藥でないから、一般世人の自宅治療用として効能書を附して販賣する事が出來なかつたが、今度右藥を錠劑として賣藥免許を受け一般に賣り出したのである。故に今後は醫師に掛らずとも此の効能確的の治淋藥を飲む事が出來る樣になつたから患者は自宅に於て祕密に人知れず治療する事が出來る。尤も右エルモール錠は藥力峻烈であるから服藥後一時間後に更にフジコールと云ふ藥を飲んで之を緩和せしめる等飽くまで最新の醫學を應用し、恰も專門病院に入院して治療する樣な至れり盡せりの療治が自宅で出來る樣になつたのは同會社のメイルオーダー部の特色である。それで其藥價はと云ふとエルモール錠百個入(二週間分)金二圓八十錢服用藥フジコール同量金二圓合計四圓八十錢であります。又別に頑固慢性用として副藥共金十二圓の分もある。チト藥價が高い樣ですけれども、高價なる原料を使用する爲め已むを得ぬ次第であります。然し其れでも醫師に掛るよりはズツト安く且つ祕密に治療が出來る特色がある。尤も七日分の小瓶もあるが、其れでは餘程の輕症でないと全快せぬ。二度目の注文する暇がなく、治り掛けた病氣が後戻りする事になるから是非四圓八十錢の大瓶をお勸めするのである。

注文の方法

御注文の方法は振替貯金又は郵便爲替にて藥價御送金次第說明書患者の心得を添へ直に送藥します。小包料は三十二錢切手にて御送りあれば藥價は代金引替にて御送りしても宜しく、又急性淋病は一日も早く服藥を要しますから電報で御注文下されば代金引替にて直に送藥します、此場合は電文は左の如く記載を願ひます

宛名 カンダヲガワマチ
電 フジセイヤクカイシヤ
文 エフ〇ナニムラチンバンチナンノタレ

右のエフ〇の三字でエルモール錠フジコール代金引替で送れと云ふ略號です、其の下に御住所氏名御明記を願ひます。

かくの如く簡單な手續で諸君は彼の恐るべき淋病を簡易に——祕密に——迅速に治療せしむる事が出來ます。熱い汁に舌を燒いて膾や刺身迄も吹いて食べたと云ふ譬へもあるが、無責任な賣藥に懲りた諸君も、是非一度は此新藥を御試みあれ、如何なる頑固慢性の淋病消渴にても必ず全治する事は當會社の名譽を掛けてもウソ偽りは申上げません。

東京神田小川町二五 富士製藥株式會社 電話神田三一三〇番 振替東京一八八番

婦人病の原因

百人が八九十人まで男の淋病の傳染であ

婦人病と云へば主に子宮病であるが其の原因は、先づ男子から病菌を傳染して女子の淋病即ち俗に云ふ消渴になる、消渴は男子のそれ程痛みは烈しくないが、膿や下り物を見、非常に氣持が惡く腰が冷え、これが段々進んで女の命と云ふ所の子宮病になるのである、故に女子として此病氣に掛つた人々は、速に前記富士製藥會社の專門藥で全治せしむるがよい。特に夫が淋病に傳染せしめた場合は夫婦同時に服藥するがよい。夫婦がお互に祕密にして別々に治療して居ると夫が全快しても妻から又傳染し、妻が治つても又夫から傳染して何時までも全快せず立派な慢性にして仕舞ふ事になる(向別記淋病患者の福音と題する廣告を見よ)

壹千五百組限り 上等毛布 二枚一組 一圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店にて前記上等鼠色毛布の處分投を初めたが品質の善き割に直段の法外に安い事は平素信用ある同店一流の良所にて決して他店の模倣の出來ぬ處也而も二枚つゞき一組乙號の二圓五十錢甲號三圓五十錢特別上製品四圓三十錢白毛布四圓九十錢と云ふ破天荒の大見切をなし且同店七週年の紀念としてメッキでなき自然十八金色指輪を一組の註文毎に一個宛の無代進呈をなすと云ふ因に希望者は郵便切手にならぬ內ハガキで申込めば送料なども實費で送るとの事

偽永春水 梅暦 四六判 代價 進呈 希望者は郵券二錢封入左記へ申込め 東京巣鴨 珍書刊行會

第二回軍馬拂下公告
牡馬約 貳百頭
右本月二十一、二十二、二十三日ノ三日間毎日約七十頭龍山停車場前龍山臨時軍馬檢疫所ニ於テ午前十時ヨリ賣拂ス詳細ハ當所ニ就キ承知スベシ
購買希望者ハ當日印鑑携帶ノコト
龍山臨時軍馬檢疫所

京日案內
▲申込市役所掲載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に御割引のこと ▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

◎代診 藥局生 至急入用志望者左記に申込まれたし 京城日報仁川支局

◎看護婦及見習看護婦募集 希望者は來談又は照會あれ 仁川 松本病院

◎古本 熱心高價買入 ◎是非御試買を乞ふ 電話三一九五番 ▲本町二丁目 ▲御報參上 ▲群書堂

看護婦及見習入用 希望者至急面談 シメノウチ齒科醫院

砂金青金高價買入れ 御一報被下出張可仕候 京城旭町一の七 中村分析所

毛皮なめし 仕立 並 鳥獸剝製 毛皮鳥毛剝製 標本類調製 鳥獸手寄賣買入 京城本町二丁目 電話長二〇六五番 持元商行

年金恩給 低利融通 最長期五年分迄立替 商品陳列館前 京城永樂町二丁目 江州屋本店

女事務員 廿五以上卅迄の記帳に經驗ある者至急入用 希望者本人來談あれ 京城本町 朝鮮三澤製藥所

▲植字 至急入用 日本人 腕の者には特別高給に採用する 京城明治町二丁目七番地 精美堂 電話一〇七七番

◎給仕募集 十四歲乃至十六歲迄 希望者は履歷書携帶來談せられたし 京城 東洋拓殖會社支店

◎龜吉 父卯之助 死去 居所しらせ 仁川 伊東留吉

株式賣買 相當經驗ある技術よりも寧ろ正直なる人を希望 一方を招聘したし 希望の方は新內柴田宛履歷書送附あれ面談午後五時より六時まで

母と子（百十二）

北島春石作　森田久畫

その夜（三）

「うむ、まつたくお前は知らんのか。」と昇一郎は強く念を入れ「志保子！のさで馴染つてくれては困るぞ。」

「………」

「可！それさへ確めておけば安心される。男も女も恐しい嫉妬心は慎むべきで、僕もこんな事は言ひたくないが、夫婦の仲で多少に係らず秘密があるさ、それが後日に至つて、如何に悲しむべき破綻の基となるとも限らんから、然うして累くは念を抑すやうなもの。決して不悟に思はずにくれ。」

「……はい」

「さあ、それさへ解れば満足だ。」と、今度は裏から愉快らしく打解て「今夜は大分更けたやうだから、そろ／＼眠るとしやうでないか。」

「もうお寝間のお仕度はいたさせてございますから……」と何氣なく言ひはしたが、志保子の聲音の調はぬを見れば、胸中の動揺が全然鎭まれるものとは思はれなかつた。

さうした細微の點までは氣注かず、昇一郎は、漸く洋盃を捨てた。

「あまり飲むまいと心がけながら面白からぬ話の結果、今夜は大分量をすごした。」

「でも、葡萄酒ではお酔にもなるまいと存じます。」

「何にしても大分酔つた。」と言ひつゝ座を起つたが、今までは理に沈んでゐたが一時に發したらしく葡萄酒の酔とは信ぜられぬまでに昇一郎の足許は定まらなかつた。

「あれ!!貴郎。」と、志保子は肩を借すやうにして「お危うございますよ。」

「はツは……葡萄酒で酔さぬものさへあるに、男子が葡萄酒に酔つては残念だね。」

「そんな事を仰有つても、平素からお酒にはお弱いのですから、お酔ひあそばしても御無理はございません。」

「ぢや、僕も寝るからね、お前も早く休むがいゝ。」

「では、御設りさ。」

やう／＼良人を寝間へ送込んだ後、志保子は脱ぎ捨ての洋服を抱へて元の居間へと引返したが、サテ前には始末をする氣にもなれず、それを膝元へ取擲けたまゝ、先刻良人から話された事に就て深くも考へ込んだ。

先方では何者とも名乗らず、又どんな樣子かとも聞かねど、彼の老人こそは、確かに森泉の叔父に紛れもない。

あの幸枝と離れ／＼になつたのが基で、自分はこの神崎家へ再婚せねばならぬ運命に陥つた……そして、親子が右と左とに引分けられた後、幸枝は岸上の家へと連れ戻られたに相違ないが、いつの間にか又叔父の手許へ引取られたとは、何う考へても不審でならぬ。

乾度、あゝした叔父様の御氣性ゆゑ、自分が再婚するやうな氣遣ひはないと信じ、尋常ならぬ苦心に苦心を重ねた結果、岸上の家から幸枝をお連れ戻りなつたに相違ない……とすれば、自分は何と云ふ情ない身の上に陥ちたのか。

今更悔んでも還らぬ事ながら、それもこれも皆な自分の意志が弱ければこそ……所詮は死なねばならぬ運命か。

「わたしは死ぬのを恐れはしない……いつでも、それだけの決心はして居れど、今では死ぬに死なれなくなつた。あゝ、その先は何うしたらいゝだらう。」

さう思ふさへも、志保子は胸に焼鏝を當てらるゝ心地。

「もう恁うなつては仕方がない!! いよ／＼これが最後と見極めがついたら、何の未練も執著も殘さずに死ぬばかり……人間の死に對しては、どんな怖ろしい罪さへも赦されると聞くから。」

哀れにも悲しき覺悟を極めこそしたれ、それで心の煩悶が薄らぎし譯ならで、志保子はいつまでも／＼深い考へに囚はれてゐた。

増上寺の森に響く鐘の音淋しく夜はは次第／＼に更けて行く。

果實の功
消化を助け血液を清潔に

果實は健康増進に最も有効な食物なるに拘らず、一部の人は贅澤物と考へて居ますが、之は大なる誤りです。果實は水分、酸類、鹽類、

◇糖分　などが含有されて居ますので、これに刺戟されて人間の血液が清潔となります。林檎、蜜柑、梨等の果物、肉食其他濃厚な食物を取る時に、其消化を助けます、果實の種子は、堅い外皮を歯でよく噛み碎いて食すれば、柔かい食物ばかりを多く食する現代文明人の、腹部運動に適當の變化を與へ、便秘を調節します西洋の昔の諺に『朝の果物は黃金で、夕の果物は鉛である』と云ひますが、之は

◇現代　科學に何の根據もないので、三度の食事毎に食る人も日に一度だけ食る人もありますがこれは其の嗜好に任せてよいので、併し葡萄の如き非常に酸性の多い果實を牛乳類と一緒に食する事は避けた方が宜しい、酸は牛乳を凝結せしむる作用を有してるからです。パインアップルの如く天然に消化性のペプシンを有してるものは、空腹に食するより

◇肉類　と共に食して消化をした方がよく、バナヽは熟すると全く澱粉質になるから、バナヽの皮が黒くなつた時はよく調理して食し六歳以下の子供には與へぬ方がよいのです。果實は生で食する處に價値が多いのです、そして又郊外等に住んでゐて、庭が廣い家庭等は、主婦自ら果實の栽培をしたら趣味の上からも實用の上からも利益ある事です。

我等の俳句

氷（十日の日令日）

○山興水
今朝の大釜の氷のまゝ焚かんとする也

○金船城
今日の仕事割當てゝは桶々の氷
工女等朝な朝なの氷踏めば安し
手洗の水を強く碎き此夜を知れり

○汀渚
碎氷船のごす黒い闘ひが年を越すのだ

○阿皎良
氷の下の夜の上げ潮を感じてる瞳だ
涙ためて寝る子の夜の氷柱とくるぞ

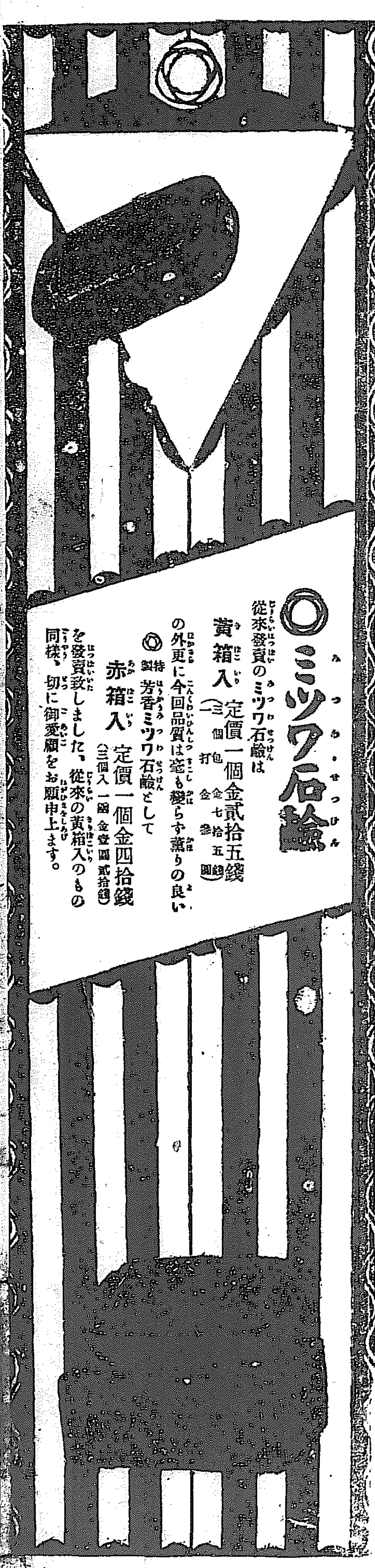
○島堂
江の氷をきゝ澄すよに障子がしまつてゐる
捨てた氷を見つめると次が思出せるのだ

—八、一二、一五—

五の日十の日令の一發展として京日俳壇と並んで本欄を設け『我等の俳句』に理解ある諸子の作品を歡迎す　原稿は京城府内和泉町七中村烏堂宛の事

讀者の領分

△朝鮮に於る各中學校受驗期が同日なる事に就ては大反對也殊に一教育家の言の如き實に噴飯の的言なり世に弘法も筆の誤り猿も木から落ちるの譬あり即ち一中學校にて落第せる者は總て低脳者なるとは限らず然るに一教育家の言とも思はれず從前の如く期日を隔てゝ試驗を行ひ而して試驗も擬ね行ひし學校の程度によりてせば何等の不利益もなく各學校共採用人員に優劣なし朝鮮に於ける各教育家一試驗によりて殿りたる才士の胸中及び前途又は多數の教を消して内地に行かせんとする親の心も推し量られたし一教育家の如きは子なきと思はれたり（本文希望生）△一教育家に御尋ね申す君は今回の中學校入學試驗の方法を術策なりであるが予は寧ろ昨年迄行はれて居つた方が適當と思ふ如何となれば現在の教育法が優等生のみを一組に他は別々になし其優等生には特別に教授を熱心に行ひ他は極く冷かなる中譯的の教授をなし居るに非らずや然れば最初より優等生は優等學校劣等生は劣等學校と昨年まで行はれたる方法が最も適當せりと思ふ然して劣等生は劣等學校に收容せしめんには優等生と劣等生とを卒業せしめんには優等生のみを收容せる學校よりも一倍の名譽あるべしと思ふ君如何と成す（父兄）△私は醫日前明治町の某店に行つて一品切手にて櫻正宗二本買ひました其の切手は去年の十二月の下旬頃のもので今は酒も高い故二十錢出せそしたら二升やると言ひます切手の裏にはいくらでくつても約束當時の値で渡すとあります。これは如何見ても不正手段でありますが父が字が讀めないからつて馬鹿にするなツ！（エス雄生）



入院隨意
島崎病院
院長　島崎龍一
京城府旭町一丁目・電話一七六番

産科婦人科
二宮醫院
醫學士　二宮亮吉
京城壽町　電話一二〇一番

◎ストーフ各種及附屬品
◎魔法瓶并中瓶取替
京城府本町三丁目
和洋金物商　佐藤半次郎商店
電話弐四三番
振替口座京城二二〇番

新案獨學イロハ辭典付
鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ひ
必ず上手になる理想的新案獨學書なり
ポケツト形二百頁　定價五十錢　送料七錢　代金引換小包十二錢
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）